

第 2 次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

（平成 2 9 年度～平成 3 8 年度）

平成 2 9 年 3 月

養 老 町

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1. 計画の位置づけ	2
2. 計画の対象区域	3
3. 計画の対象廃棄物の範囲	3
4. 計画の期間	3

第2章 前計画の総括

1. 前計画の目標進捗状況	4
2. 前計画の施策実施状況	6

第3章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制	7
2. ごみ処理の実績	13
3. ごみ処理の実績の比較	17
4. 3Rや家庭のごみに関するアンケート結果	18
5. ごみ処理の現状と課題	21

第4章 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

1. 基本理念・基本方針	22
2. 数値目標	23
3. 現状課題及び目標達成のための施策	25
4. ごみの発生量及び排出量の見込み	29
5. ごみ処理に関する基本的事項	35
6. ごみ処理施設整備に関する事項	38
7. その他ごみの処理に関し必要な事項	38

第5章 計画の推進

1. ごみ減量化推進協議会と計画の推進・公表	39
2. 地球温暖化への配慮	39

資料編	40
-----	----



第1章 計画策定の趣旨

私達はこれまで、利便性に富み、モノにあふれる社会生活を追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会活動を行ってきました。しかしながら、限りある資源やエネルギーを大量に消費し、たくさんのモノを生産し、大量の廃棄物を生み出してきたことで、地球規模で進行する温暖化等、地球環境の危機が深刻化しています。地球の恩恵を受け、経済発展してきた我々は今、『天然資源の消費を抑えて環境負荷を低減させる』観点から、循環型社会へと移行していくことが求められています。循環型社会を構築する上で要となる、3Rの取り組みでも特に優先順位が高いとされる、2R「リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）」は、行政、民間事業者、住民全ての主体において、今後の循環型社会形成において重要な念頭事項と言えます。資源を循環させることは、バージン原料を用いる場合と比較して消費エネルギーを削減することができるため、地球温暖化防止対策である低炭素社会の形成にも繋がります。

私達の養老町（以下、「本町」と言います。）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第6条第1項の規定に基づき、一般廃棄物の処理について定めた養老町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「前計画」と言います。）を2007年（平成19年）3月に策定しました。

また、市町村の範囲で循環させることが困難な資源は、市町村の垣根を越え、広域的な物質循環を行い、より効率的で重層的な「地域循環圏」の形成が求められています。「地域循環圏」のイメージは、図1-1に示すとおりです。

前計画は、本町において循環型社会の形成を目指すために策定され、この計画に基づき、廃棄物のリサイクル及び処理システムの構築を図ってきましたが、2016年度（平成28年度）で満了となります。このため、前計画の実施状況及び本町のごみ処理における現状を踏まえ、本町の地域の特性に適した循環型社会や低炭素社会、地域循環圏を構築していくことを目的として、第2次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「本計画」と言います。）を策定します。

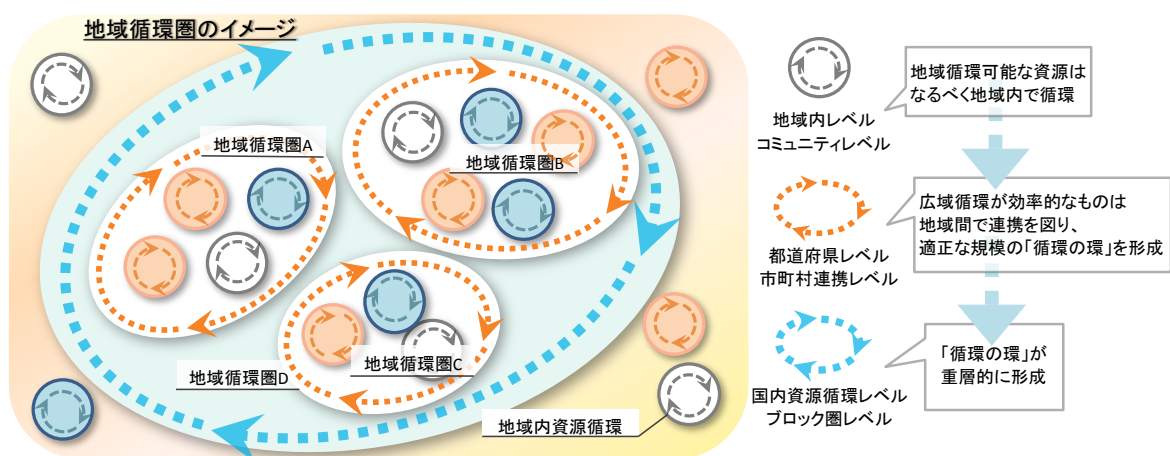


図1-1 地域循環圏のイメージ

1. 計画の位置づけ

本計画と関連計画の位置づけは、図 1-2 に示すとおりです。

本計画は、本町総合計画で示された将来像を目指すための一般廃棄物分野における計画です。最上位に環境基本法があり、次いで循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法及び各リサイクル法があります。本計画は、国が示す廃棄物処理法に基づく基本方針や循環型社会形成推進基本法の趣旨に則って策定するものです。

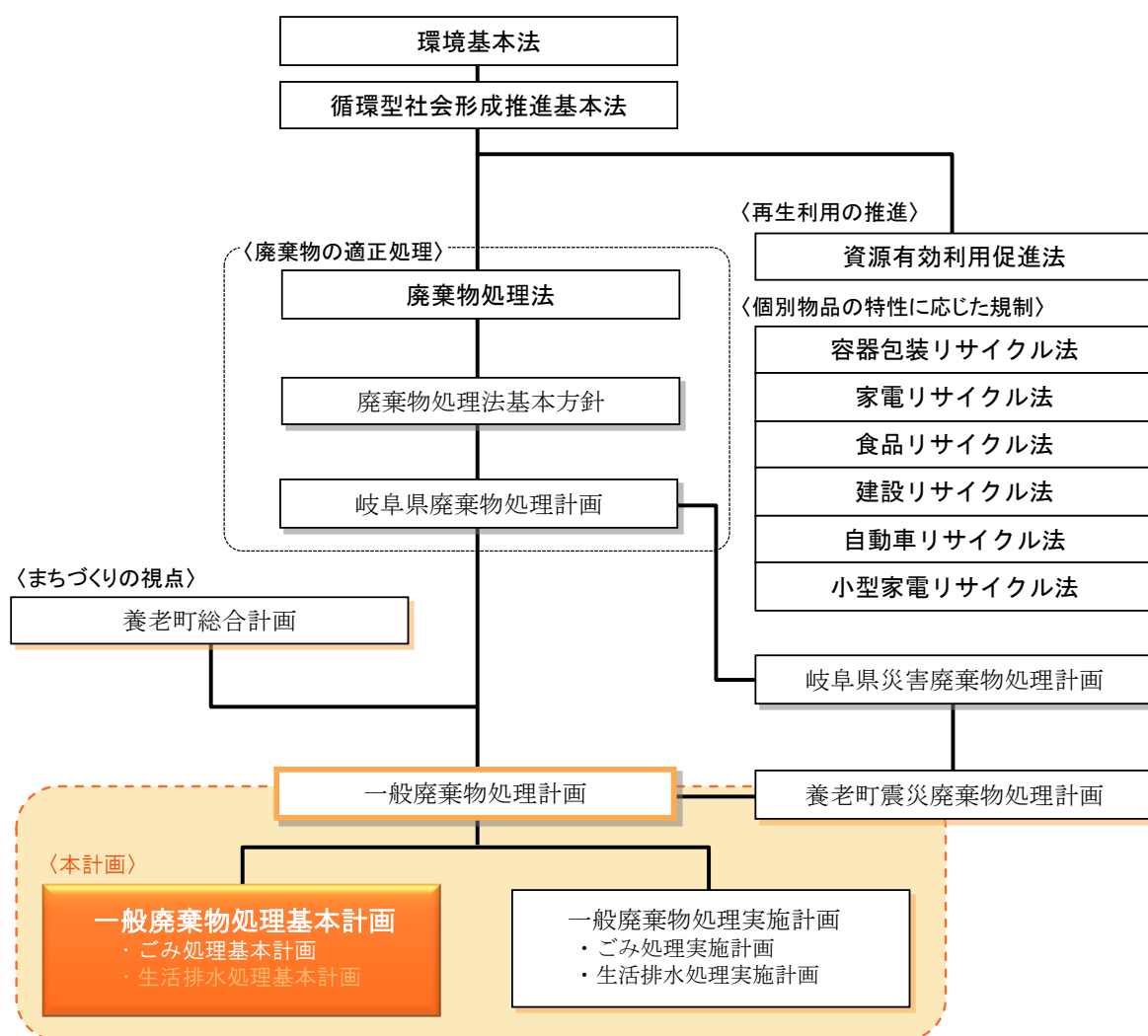


図 1-2 計画の位置づけ

2. 計画の対象区域

養老町全域を対象区域とします。

3. 計画の対象廃棄物の範囲

廃棄物の種類及び本計画の対象とする廃棄物の範囲は、図 1-3 に示すとおりです。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に大別され、本計画ではし尿を除く一般廃棄物を対象とします。

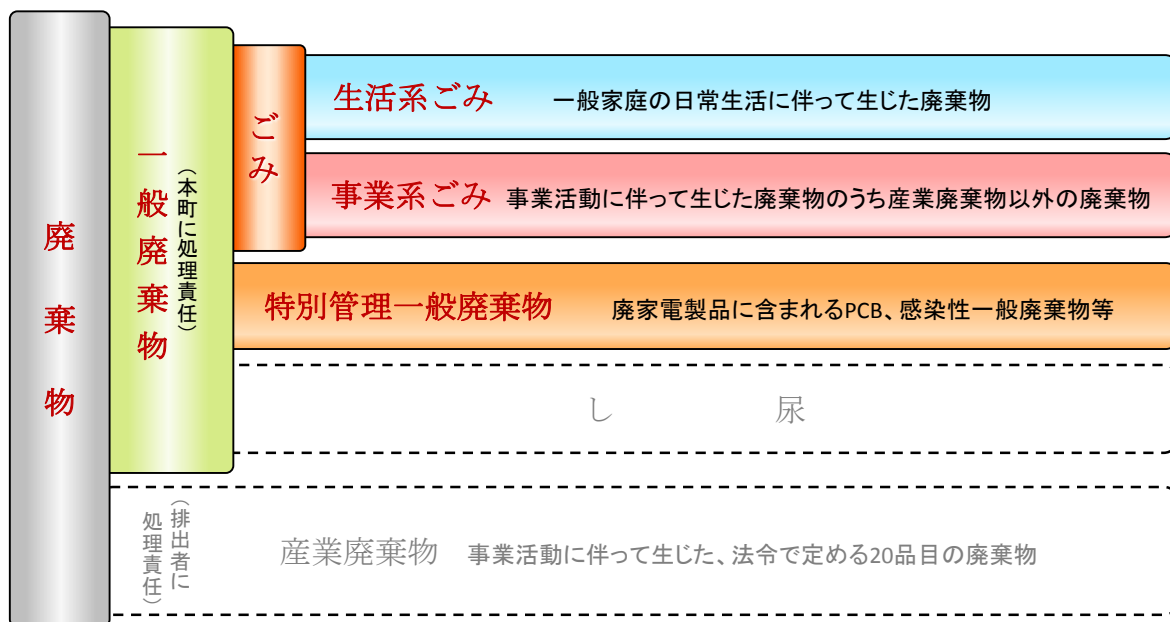


図 1-3 廃棄物の種類と対象廃棄物の範囲

4. 計画の期間

本計画では、図 1-4 に示すとおり、2017 年度（平成 29 年度）から 2026 年度（平成 38 年度）の 10 年間を計画期間とします。

なお、概ね 5 年ごとに進捗状況を勘案し、見直すほか、計画策定の諸条件に大きな変動があった場合には、必要に応じて見直しを行います。

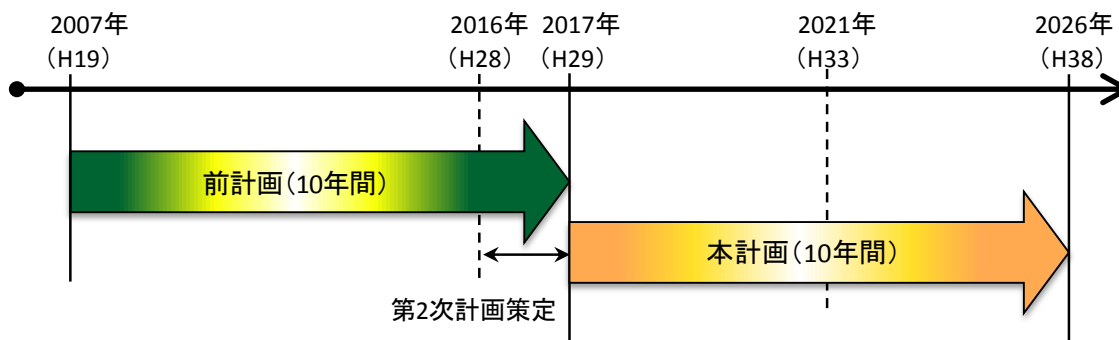


図 1-4 計画の期間



第2章 前計画の総括

1. 前計画の目標進捗状況

前計画で定めた数値目標の各達成状況は、表 2-1 に示すとおりです。

表 2-1 目標達成状況 (2015 年度 (平成 27 年度) 実績)

	項目	目標値	実績値
①	1 人 1 日ごみ排出量 (g/人・日)	792	794
②	再生利用率 (%)	34.3	16.9
③	最終処分量 (t/日)	4.0	4.4

① 1 人 1 日ごみ排出量

1 人 1 日ごみ排出量は、ごみ総排出量から集団回収による排出量を除いた排出量を 1 人 1 日あたりに換算した量で、目標値と実績値の推移は図 2-1 に示すとおりです。

ごみ排出量は、2010 年度 (平成 22 年度) 以降、目標値を満たす 777g/人・日 (2010 年度 (平成 22 年度) ~2015 年度 (平成 27 年度) の平均値) を推移していました。2015 年度 (平成 27 年度) は目標値をわずかに上回りましたが、目標年度 (2016 年度 (平成 28 年度)) には目標値を達成できる見込みとなっています。

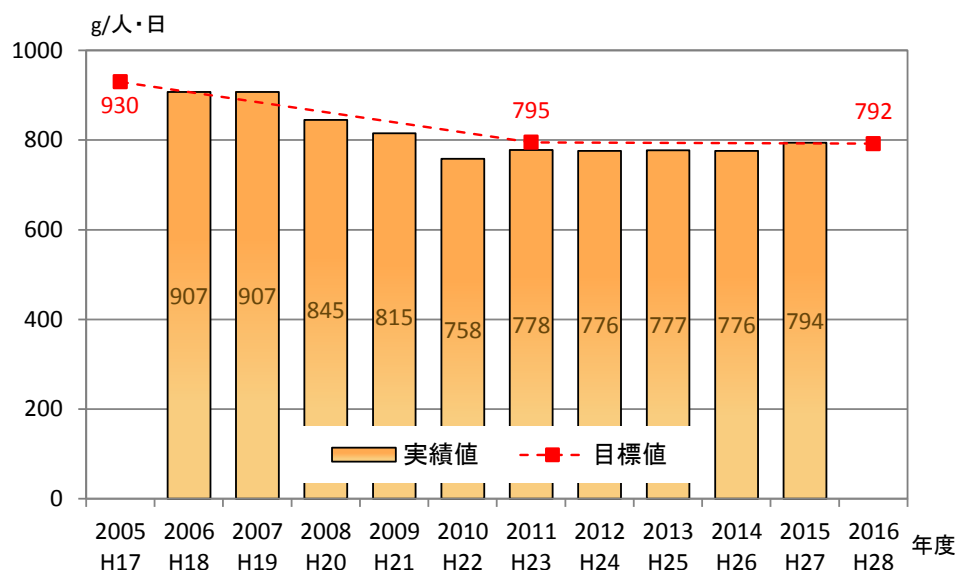


図 2-1 1 人 1 日ごみ排出量の目標と推移

② 再生利用率

再生利用率は、ごみ総排出量における資源ごみ、集団回収、中間処理後資源化量の占める割合であり、目標値と実績値の推移は、図 2-2 に示すとおりです。

2008 年度（平成 20 年度）1 月に竣工した南濃衛生施設利用事務組合養老ドリームパーク（以下、「養老ドリームパーク」と言います。）は、焼却灰から溶融スラグを製造しています。このため、再生利用率は増加しましたが、2011 年度（平成 23 年度）以降は減少へと転じ、目標値を大きく下回っています。

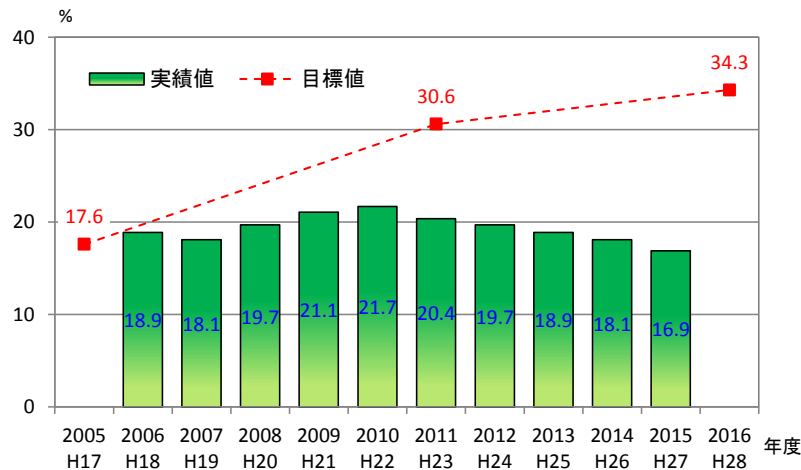


図 2-2 再生利用率の目標と推移

③ 最終処分量

最終処分量は、一般廃棄物最終処分場への搬入量と中間処理後最終処分量の総量であり、目標値と実績値の推移は、図 2-3 に示すとおりです。

養老ドリームパークでのスラグの製造及びがれき類の搬入量の減少により、最終処分量は大幅に削減され、2010 年度（平成 22 年度）以降は、目標値と同程度の処分量を推移しています。

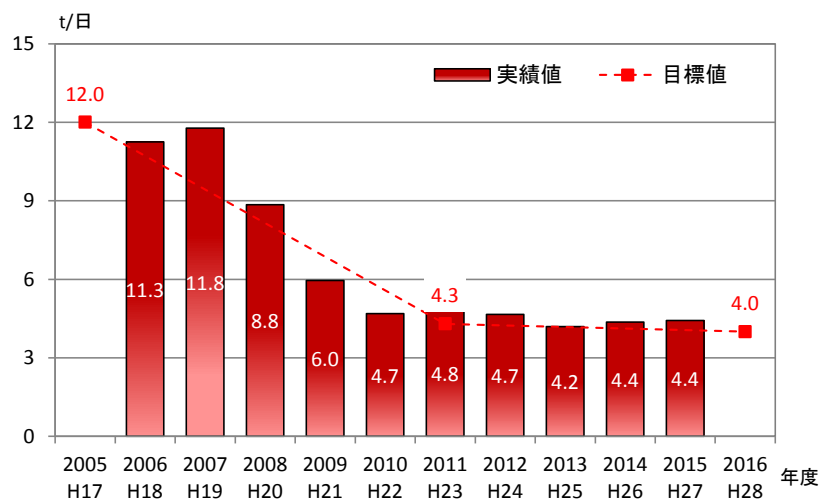


図 2-3 最終処分量の目標と推移

2. 前計画の施策実施状況

前計画の期間に実施した施策とその評価は、表 2-2 に示すとおりです。

表 2-2 施策の実施状況とその評価

施策	現況	評価
排出抑制		
一般ごみと容器包装廃棄物との区分の徹底	・発泡スチロール・トレイに限り資源回収物として区分している。	△
公共施設などを回収拠点などに活用	・出先機関を「有害ごみ」や「小型家電」などの回収拠点として活用している。	○
リサイクル情報の提供	・リーフレットやごみカレンダー、町ホームページ、町広報誌（特集等）で啓発。	○
資源化		
資源回収による資源化促進	・年2回以上の分別回収を実施した地域各種団体を対象に、1kg当たり6円の助成金を交付。	○
ペットボトルの資源化促進	・分別回収し、委託業者でペレット化後、資源再生業者へ引き渡している。	○
粗大ごみの戸別有料収集	・シルバー人材センターに業務委託し、戸別有料収集を実施。 ・1点につき（80kg以内として）80円の手数料負担。	○
買い替え時の家電回収の促進	・町及び町内事業者等による家電の有料収集体制の構築。	○
蛍光管・体温計の資源化促進	・ステーション回収から拠点回収へと変更 ・収集は年2回。	○
乾電池の資源化促進	・町役場、各自治会館等に設置の回収ボックスにて常時回収を実施。 ・委託業者で回収し、資源回収業者へ引き渡す。	○

注) ○…実施、△…一部実施、×…未実施



第3章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制

(1) ごみ区分の定義

本計画の対象となる一般廃棄物は、図 3-1 に示すとおりです。

その排出源によって「生活系ごみ（生活系一般廃物）」と「事業系ごみ（事業系一般廃物）」に大別されます。

さらに生活系ごみは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「ビニール・プラスチック類ごみ」「有害ごみ」「粗大ごみ」「資源ごみ」の 6 つに区分され、そのうち「資源ごみ」を除く処理・処分を必要とするごみを「家庭系ごみ」とします。

なお、古紙等は地域の各種団体により資源分別回収が、食品トレイ、インクカートリッジ等は民間事業者により店頭回収が、家電リサイクル法やパソコンリサイクル法等に基づく家電製品等はメーカーによる回収が行われています。

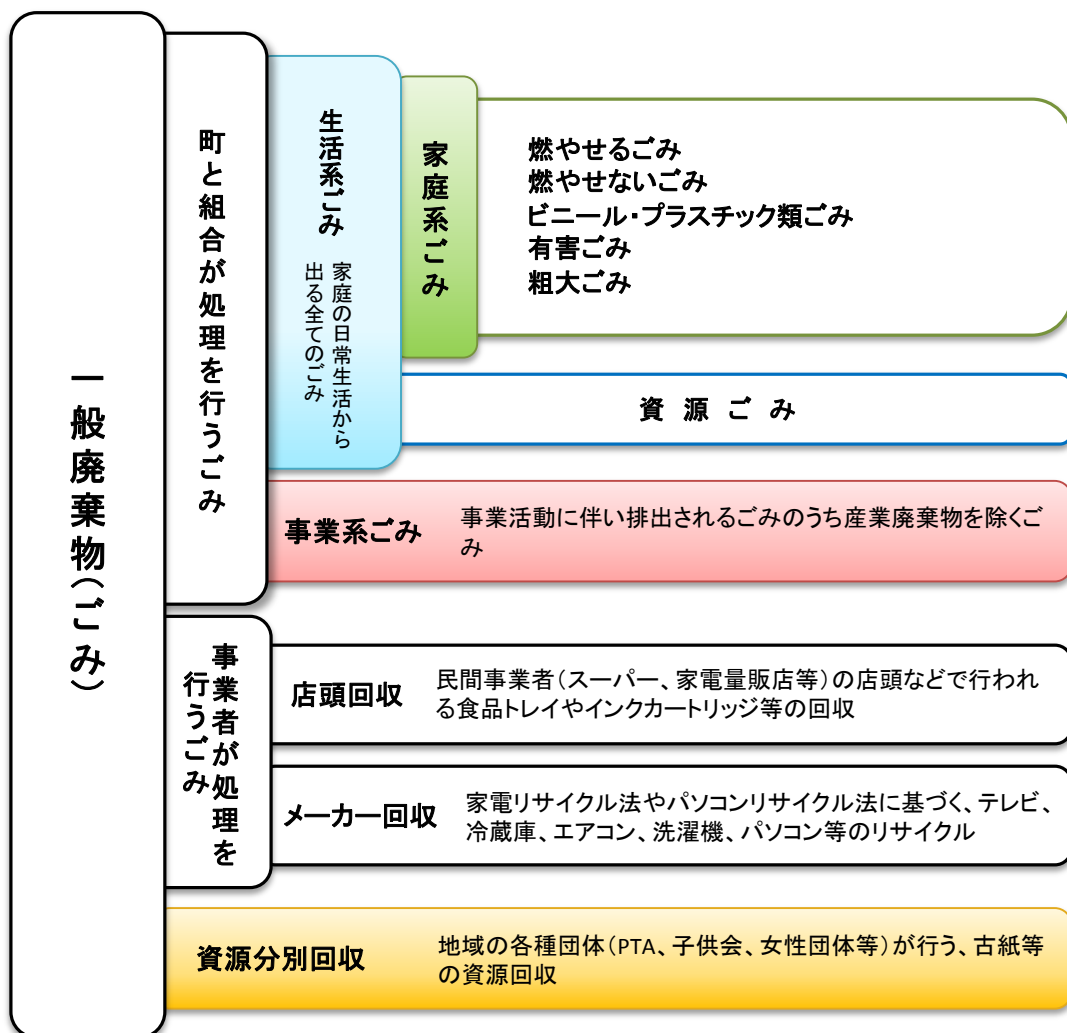


図 3-1 本町のごみ区分の定義（2016 年度（平成 28 年度））

(2) 分別区分

本町におけるごみの分別区分は、表 3-1 に示すとおりです。

表 3-1 ごみの分別区分

ごみの種類		内容	
燃やせるごみ		下記の資源ごみや燃やせないごみなどを除く可燃性のごみ (料理くず残飯、紙おむつ、天ぷら油、食用油、皮のみの製品、ふとん、カーペット、毛布など)	
燃やせないごみ		鍋、化粧品の空きビン、鏡、ガラス製品、ポリバケツ、ポット、ポリタンク、家電製品など	
ビニール・プラスチック類ごみ		カセットテープ、ビデオテープ、CD、DVD、ブルーレイ、プラモデル、ビニールシート、ラップ類、洗剤・マヨネーズなど容器、ゴム製品など	
有害ごみ		蛍光灯、水銀体温計、乾電池・ボタン電池、茶わん・湯のみ・植木鉢などの陶磁器類など	
粗大ごみ		自転車、タンス、食卓・イス、レンジ、ふとん・カーペット、ストーブなど	
資源ごみ	カン	アルミ缶、スチール缶でペンキ・油脂類の缶を除くもの	
	発泡スチロール・トレイ	右記のマークや PS と表示があるもの	
	ビン	ガラス製のビンでビールビン、酒ビン、耐熱ガラス、食器、コップ、化粧品のビン、板ガラス等を除くもの	
	ペットボトル	右記のマークがあるもの	

注) 平成 28 年度養老町ごみカレンダーより

(3) 収集・運搬体制

本町における 2016 年度（平成 28 年度）の生活系ごみと事業系ごみの収集・運搬体制は、それぞれ表 3-2、表 3-3 に示すとおりです。

直接搬入ごみを除く全ての生活系ごみの収集・運搬は委託で実施しており、ステーション回収、戸別回収で実施しています。

また、事業系ごみの運搬は許可業者が行い、個別収集を実施しています。

表 3-2 生活系ごみの収集・運搬体制

項目		収集形態	収集方法	収集回数	収集容器
燃やせるごみ		委託	ステーション回収	週 2 回	指定袋
燃やせないごみ				月 1 回	指定袋
ビニール・プラスチック類ごみ				月 2 回	指定袋
資源 ごみ	カン	直営		月 1 回	収集かご
	ビン			月 1 回	収集かご
	発泡スチロール・トレイ	委託		月 1 回	収集かご
	ペットボトル			月 1 回	収集かご
粗大ごみ		直営	戸別回収	随時	—
有害ごみ			拠点回収	年 2 回	—
乾電池				随時	—
小型家電				随時	—
直接搬入ごみ		排出者が自ら搬入			—

表 3-3 事業系ごみの収集・運搬体制

項目	収集形態	収集方法
事業系ごみ（燃やせるごみ）	許可業者	個別収集
事業系ごみ（燃やせないごみ）		
直接搬入ごみ	排出事業者が自ら搬入	

(4) 中間処理

本町の燃やせるごみは、養老ドリームパークの焼却施設にて焼却処理が行われ、焼却残渣の一部はガス化溶融炉により溶融スラグとして資源化されています。

燃やせないごみ、粗大ごみ、有害ごみについては、西南濃粗大廃棄物処理センター（以下、「西南濃粗大」と言います。）の処理施設で破碎・選別処理が行われ、可燃物、磁性物、不燃物に分けられ、それぞれ中間処理、資源化、最終処分されています。

処理施設の概要は、表 3-4、表 3-5 に示すとおりです。

表 3-4 焼却処理施設の概要

項目	内容
処理対象物	燃やせるごみ
名称	養老ドリームパーク
所在地	養老郡養老町有尾字下池内
面積	36,000m ²
処理能力	80t／24h（40t／24h×2 基）
処理方法	流動式ガス化溶融システム
運転管理	南濃衛生施設利用事務組合
建設年度	着工 2006 年（平成 18 年）3 月 30 日
	竣工 2009 年（平成 21 年）1 月 23 日

表 3-5 破碎処理施設の概要

項目	内容
処理対象物	燃やせないごみ・粗大ごみ
名称	西南濃粗大廃棄物処理センター
所在地	養老郡養老町有尾字下池内
面積	47,148.6m ²
処理能力	70t／5h
処理方式	破碎処理 ・ 二軸剪断式破碎機 ・ 横型回転式破碎機
運転管理	西南濃粗大廃棄物処理組合
建設年度	竣工 1998 年（平成 10 年）

(5) 最終処分

本町は、最終処分場（弥八池）と祖父江最終処分場を所有しており、がれき類、陶磁器類の埋立処分を行っています。各最終処分場の概要は、表 3-6 に示すとおりです。

また、本町で発生した燃やせるごみの焼却残渣、燃やせないごみ・粗大ごみの破碎残渣はそれぞれ南濃衛生施設利用事務組合、西南濃粗大廃棄物処理組合によって管理される最終処分場で埋立処分されています。組合が管理する最終処分場の概要は、表 3-7 に示すとおりです。

表 3-6 本町所有の最終処分場

項目	最終処分場（弥八池）	祖父江最終処分場
処理対象物	がれき類等	がれき類等
名称	養老町一般廃棄物処理場（弥八池）	養老町祖父江一般廃棄物処分場
所在地	養老郡養老町田字堤外 1485 番地	養老郡養老町祖父江字前沖 2312 番地
埋立面積	14,198m ²	7,248m ²
埋立容積	39,029m ³	19,825m ³
埋立方式	その他埋立方式	その他埋立方式

表 3-7 組合所有の最終処分場

項目	南濃衛生施設利用事務組合管理	西南濃粗大廃棄物処理組合管理
処理対象物	焼却残渣	不燃物（破碎残渣）
名称	一般廃棄物最終処分場	一般廃棄物最終処分場（管理型）
所在地	不破郡関ヶ原町大字関ヶ原時築田地内	養老郡養老町有尾字下池
埋立面積	875m ²	10,100m ²
埋立容量	7,610m ³	30,600m ³
埋立方式	準好気性サンドイッチ方式	サンドイッチ方式
主要設備	・擁壁等流出防止設備 ・遮水工 ・浸出水集排水設備 ・雨水等集排水設備	・浸出水処理設備

(6) ごみ処理フロー

本町で実施されているごみ処理フローは、図 3-2 に示すとおりです。

搬入方法として、集積場での収集、役場及び自治会館等での拠点回収、粗大ごみに関しては戸別回収を採用しています。

収集したごみは、養老ドリームパーク、西南濃粗大、その他中間処理業者に持ち込まれ、それぞれ焼却処理や破砕・選別等の中間処理後、最終処分場へ搬入、又は資源再生業者へ引き渡されます。

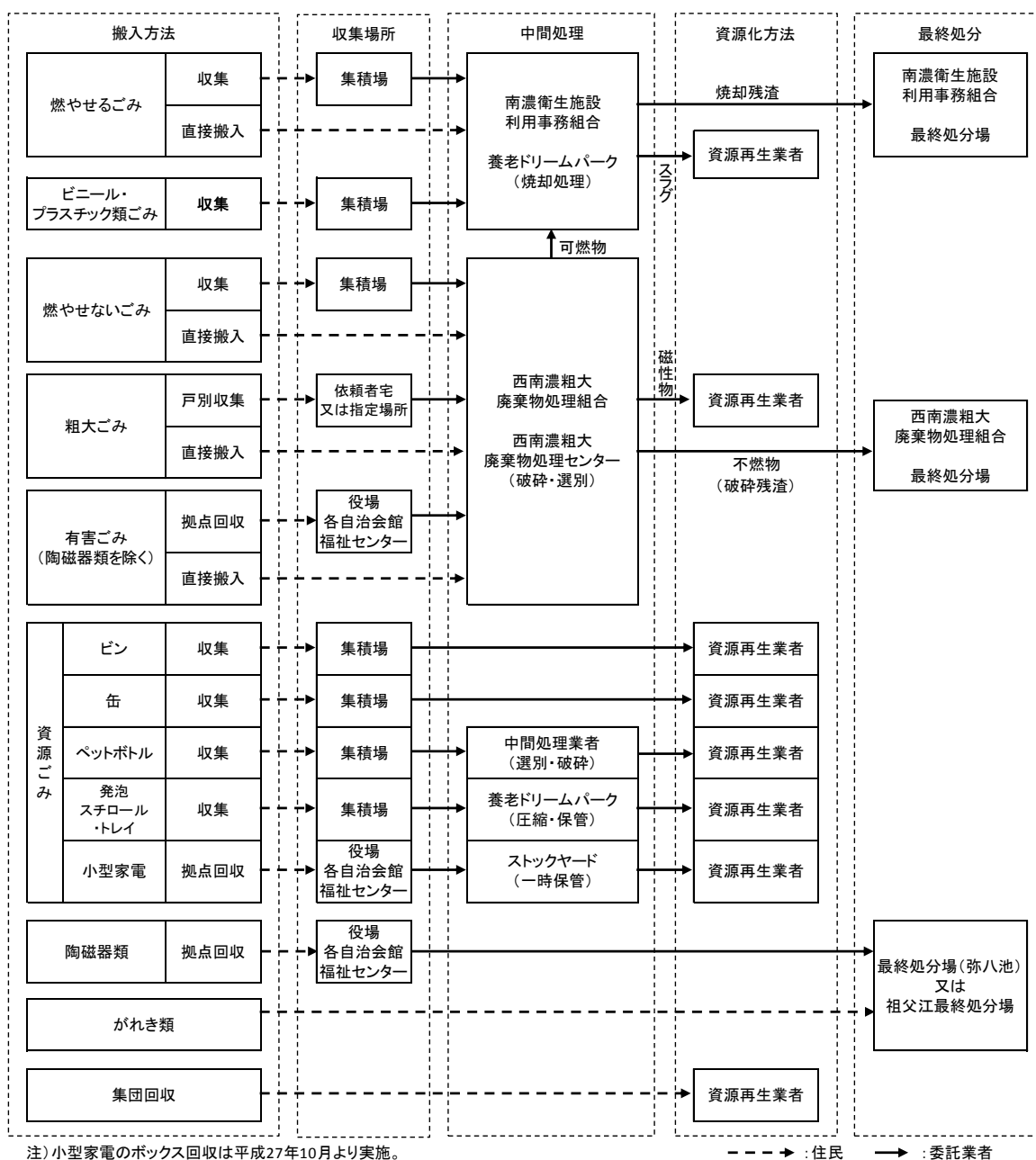


図 3-2 ごみ処理フロー (2015 年度 (平成 27 年度))

2. ごみ処理の実績

(1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図 3-3 に示すとおりです。

本計画では、住民及び事業者などによって排出されるすべての不要物の量を「ごみ発生量」としますが、潜在ごみである事業者独自の資源回収・処理や民間事業者による資源回収によって回収等が実施されているものや、住民による自家処理（生ごみの堆肥化等）については、実数として捉えることが困難です。よって、これらを除いたものを「ごみ総排出量」とします。

さらに、ごみ総排出量から、本町のごみ処理ルート等で処理を行わない集団回収量を除いたものを「ごみ排出量」とします。

「ごみ総排出量」のうち、本町の家庭から排出されたものを「生活系ごみ」、事業所や公共施設から排出されたごみを「事業系ごみ」とし、生活系ごみのうち資源ごみと集団回収で集められた資源を除いた処理・処分が必要なごみを「家庭系ごみ」とします。

		潜在ごみ (数値の把握が困難なもの)		生ごみ堆肥化等の自家処理、 民間事業者による資源回収や 事業者の独自処理
ごみ発生量	ごみ総排出量	生活系ごみ	資源分別回収	集団回収により集められた資源
			資源ごみ	家庭から排出される収集または 拠点回収で集められる資源
			燃やせるごみ	家庭から排出される資源以外の 処理・処分が必要なごみ
		家庭系ごみ	燃やせないごみ等	
	ごみ排出量	事業系ごみ		事業所から排出されるごみ

図 3-3 ごみ排出区分の定義

(2) ごみ総排出量の推移

本町における過去 10 年間のごみ総排出量及び 1 人 1 日あたりごみ総排出量の推移は、表 3-8 及び図 3-4 に示すとおりです。

2010 年度（平成 22 年度）までごみ総排出量、1 人 1 日あたりごみ総排出量・ごみ排出量・家庭系ごみ排出量はともに減少傾向にありましたが、2011 年度（平成 23 年度）に可燃ごみ、不燃ごみ（がれき含む）の増加により一旦増加しました。2012 年度（平成 24 年度）以降、1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は微増していますが、他は概ね横ばいです。

表 3-8 ごみ総排出量の推移

項目	単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人口	人	33,508	33,179	33,051	32,728	32,455	32,179	31,738	31,296	30,814	30,327
ごみ総排出量	t/年	12,923	12,806	11,981	11,382	10,563	10,654	10,392	10,173	9,925	9,922
可燃ごみ	t/年	7,430	7,330	7,347	7,086	6,799	6,892	6,790	6,805	6,637	6,655
不燃ごみ（がれき含む）	t/年	3,255	3,330	2,488	2,247	1,780	1,893	1,836	1,706	1,737	1,831
資源ごみ	t/年	393	343	352	397	383	371	351	352	338	313
有害ごみ	t/年	13	10	11	11	14	12	10	11	10	11
集団回収量	t/年	1,832	1,793	1,782	1,641	1,587	1,485	1,405	1,299	1,203	1,112
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	1,057	1,055	993	953	892	905	897	891	882	894
1人1日あたりごみ排出量	g/人・日	907	907	845	815	758	778	776	777	776	794
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	644	641	565	547	505	527	528	521	536	545

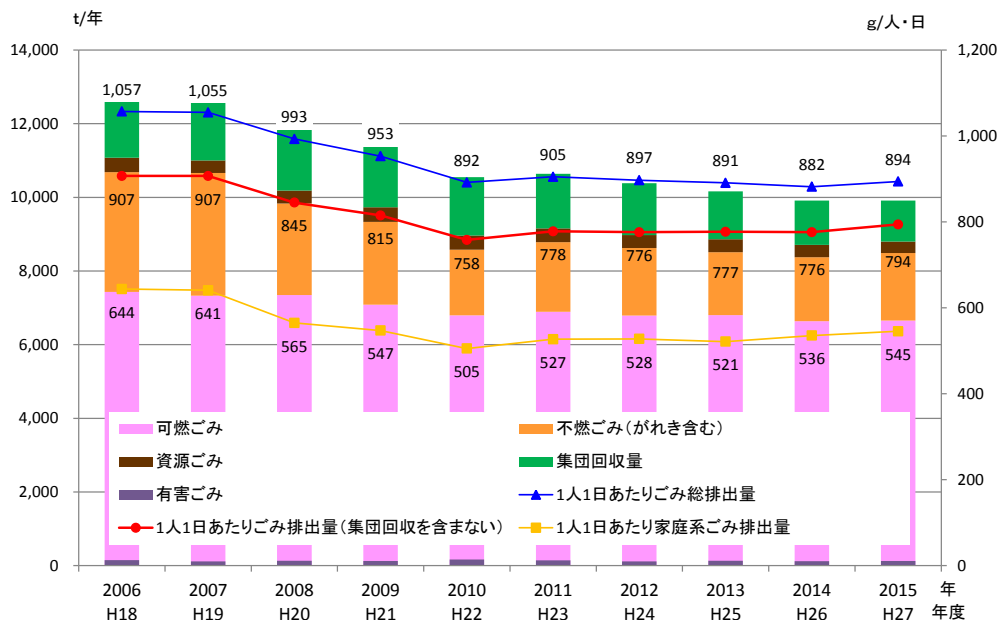


図 3-4 ごみ総排出量の推移

※ 1 人 1 日あたり各ごみ排出量＝各ごみ排出量÷（人口×年間日数）

(3) 再生利用率の推移

本町における過去 10 年間の資源化量及び再生利用率の推移は、表 3-9 及び図 3-5 に示すとおりです。

2008 年度（平成 20 年度）1 月に竣工した養老ドリームパークは、ガス化熔融施設を要しており、焼却灰から熔融スラグを製造しています。これにより、焼却処理による資源化量が増加しますが、2010 年度（平成 22 年度）以降は、集団回収量の減少もあり、総資源化量、再生利用率ともに減少へ転じています。

表 3-9 資源化量及び再生利用率の推移

項目	単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ごみ総排出量	t/年	12,923	12,806	11,981	11,382	10,563	10,654	10,392	10,173	9,925	9,922
総資源化量	t/年	2441	2314	2362	2403	2294	2169	2045	1921	1794	1680
資源ごみ	t/年	393	343	352	397	383	371	351	352	338	313
集団回収量	t/年	1832	1793	1782	1641	1587	1485	1405	1299	1203	1112
焼却処理による資源化量	t/年	0	0	35	186	189	177	161	148	132	119
粗大・不燃ごみ処理による資源化量	t/年	216	179	193	179	134	135	127	122	121	136
再生利用率	%	18.9	18.1	19.7	21.1	21.7	20.4	19.7	18.9	18.1	16.9

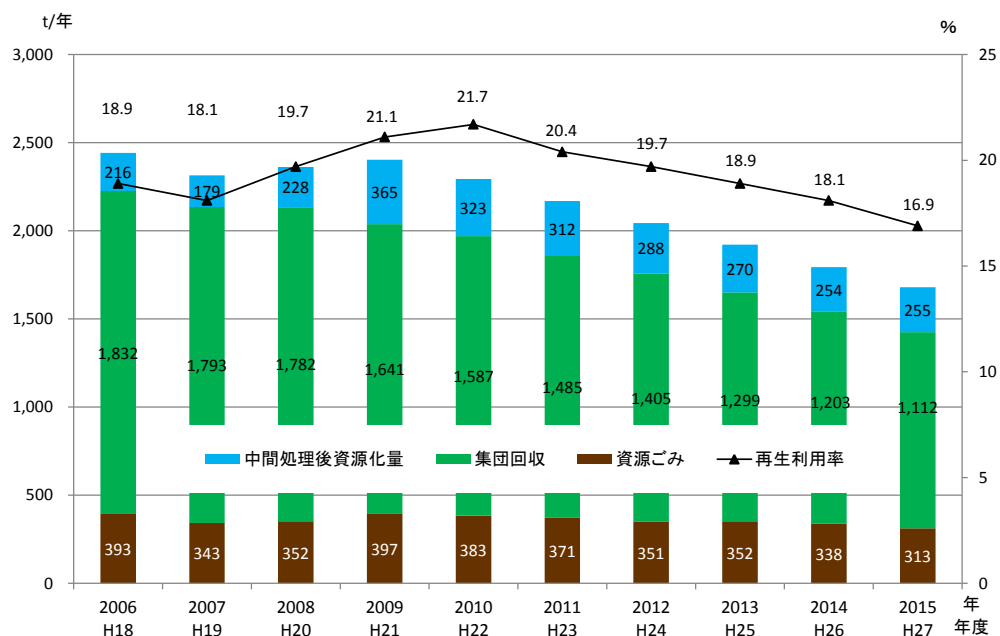


図 3-5 再生利用率の推移

※ 再生利用率＝総資源化量÷ごみ総排出量×100

(4) 最終処分量

本町における過去 10 年間の最終処分量及び最終処分率の推移は、表 3-10 及び図 3-6 に示すとおりです。

がれき類の搬入量の減少及び養老ドリームパークの運用開始により、2010 年度（平成 22 年度）までに最終処分量は著しく削減されました。2011 年度（平成 23 年度）以降は概ね横ばいです。

表 3-10 最終処分量及び最終処分率の推移

項目	単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ごみ総排出量	t/年	12,923	12,806	11,981	11,382	10,563	10,654	10,392	10,173	9,925	9,922
最終処分量	t/年	4,107	4,310	3,230	2,172	1,709	1,768	1,700	1,531	1,593	1,619
陶磁器類	t/年	15	11	22	21	22	38	40	30	30	29
がれき類	t/年	2,486	2,646	1,783	1,538	1,180	1,263	1,213	1,065	1,161	1,156
焼却処理による 最終処分量	t/年	1,466	1,574	1,377	566	445	425	399	388	385	403
粗大・不燃ごみ処理 による最終処分量	t/年	140	79	48	46	62	43	48	48	18	31
最終処分率	%	32	34	27	19	16	17	16	15	16	16

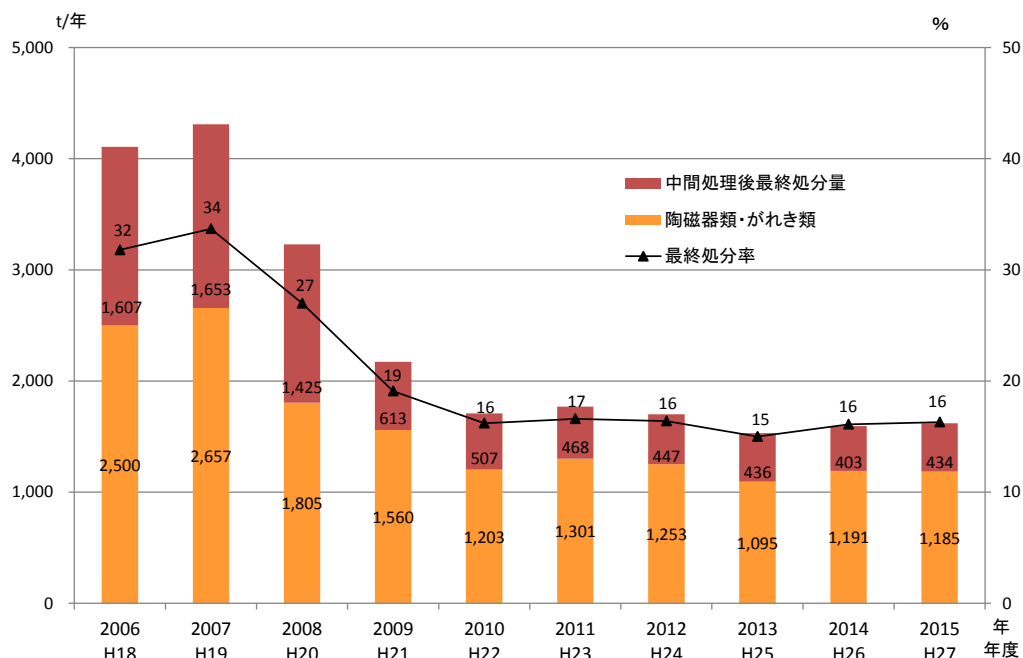


図 3-6 最終処分量の推移

※ 最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

3. ごみ処理の実績の比較

本町におけるごみ処理実績について、岐阜県内における実績平均値との比較を行いました。比較を行う項目は、表 3-11 に示す 7 項目です。

ごみ総排出量、可燃ごみ排出量、不燃・粗大ごみ排出量は、岐阜県の平均値を下回っていますが、リサイクル率は岐阜県の平均値よりも低く、最終処分量は高くなっています。

表 3-11 比較項目及びその実績値

	単位	養老町	岐阜県
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	894	911
家庭系1人1日あたり可燃ごみ排出量	g/人・日	397	479.5
家庭系1人1日あたり不燃・粗大ごみ排出量	g/人・日	42	48.3
家庭系1人1日あたり資源排出量	g/人・日	129	128.6
リサイクル率	%	16.9	19.9
最終処分量	%	16.3	8.8
1人あたりごみ処理費用	円/人	22,159	13,071

4. 3R や家庭のごみに関するアンケート結果

一般廃棄物処理基本計画策定にあたり、住民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考えを把握し、計画策定のための資料とすることを目的とし、アンケート調査を実施しました。

(1) 調査の概要

調査の概要は、表 3-12 に示すとおりです。

表 3-12 調査の概要

項目	内容
調査対象	住民基本台帳から 20 歳以上の条件で 1000 件を無作為に抽出
調査方法	郵送による送付・回収
実施期間	2016 年（平成 28 年）6 月 23 日（送付日）～7 月 11 日（回収期限）
回収状況	回収数 482 通、回収率 48.2%

(2) 調査結果（抜粋）

後述するごみ処理の課題に関連する設問を抜粋し、以下に示します。

ごみの分別・収集について

問 5 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

全体の 6 割が「満足」と回答していますが、「不満」という回答も 3 割近くあります。

収集回収を不便に感じるごみとしては、ビニール・プラスチック類ごみ、有害ごみ、ペットボトルが挙げられます。

収集回数を不便と感じる主なごみは表 3-13 に示すとおりです。

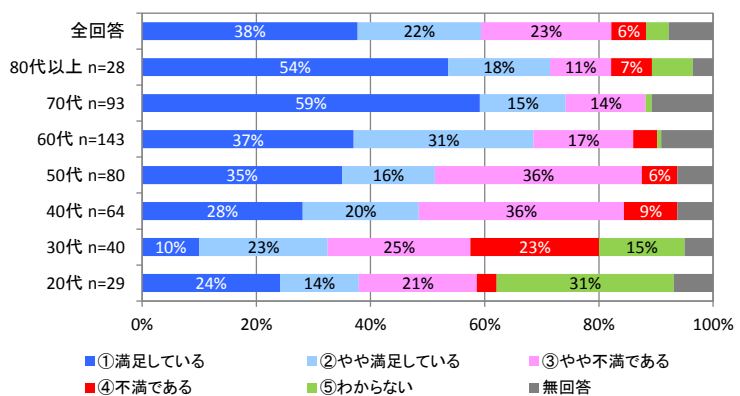


表 3-13 収集回数を不便と感じる主なごみ

区分	件数	割合
ビニール・プラスチック類ごみ	145 件	59.7%
有害ごみ	74 件	30.5%
ペットボトル	65 件	26.7%

ごみの分別・収集について

問 7 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

全体の 3 割が「困ったことがある」と回答しています。

困った主な内容としては、分別区分や、収集回数の少ないことが挙げられます。

ごみの出し方で困った主な内容は、表 3-14 に示すとおりです。

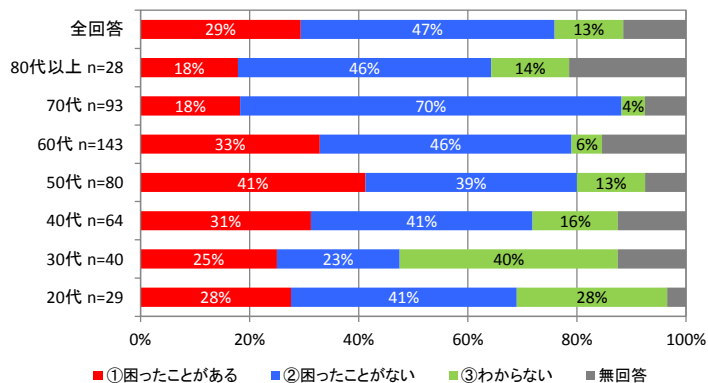


表 3-14 ごみの出し方で困った主な内容

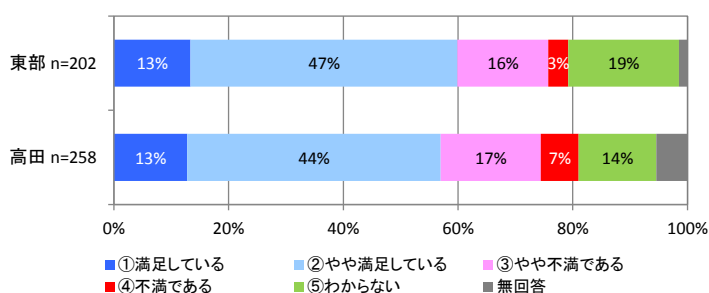
内容	件数	割合
分別区分	66 件	13.7%
収集回数が少ない（特に夏季の燃やせるごみ、ビニール・プラスチック類）	12 件	2.5%

3R の取り組みなどについて

問 18 養老町の街の清潔さに満足していますか？

地区に関わらず、6 割程度の方が「満足」と回答していますが、高田地区における「不満」の回答は東部地区に比べ多くなっています。

また、自由記載欄には、「ポイ捨てやペットの糞が気になる」との意見が複数件ありました。



(3) 住民満足度

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』に示されているアンケート調査項目について、回答の総合得点により住民満足度指数を算出し、評価を行いました。

① 集計方法

- ・ 「満足している」5点、「やや満足している」4点、「やや不満である」2点、「不満である」を1点として設問毎に回答の平均得点を算出しました。その際、「わからない」及び無回答は有効回答数から除きました。平均得点が3.0点以上となれば、良く評価していると判断できます。
- ・ 設問毎に平均得点を算出します。(得点の合計÷有効回答者数)なお、それぞれの平均得点が住民満足度に関する補足指標となります。
- ・ 設問毎の平均得点の平均値を算出し、住民満足度の総合評価とします。
- ・ 「わからない」及び「無回答」は、アンケート回収数に対する割合を算出することで、市民の認知度を測る指標として活用できます。

【設問】

問5 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

問16 養老町の3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？

問17 ごみ処理や3Rの情報公開や提供に満足していますか？

問18 養老町の街の清潔さに満足していますか？

② 集計結果

住民満足度の集計結果は、図3-7に示すとおりです。

4問の平均得点による総合評価は3.7点と、平均3点を上回る結果となりました。

しかし、有効回答数に対する3Rの取り組みや情報公開における「分からない」及び無回答の割合はそれぞれ37.7%、39.8%と認知度が非常に低い結果となりました。

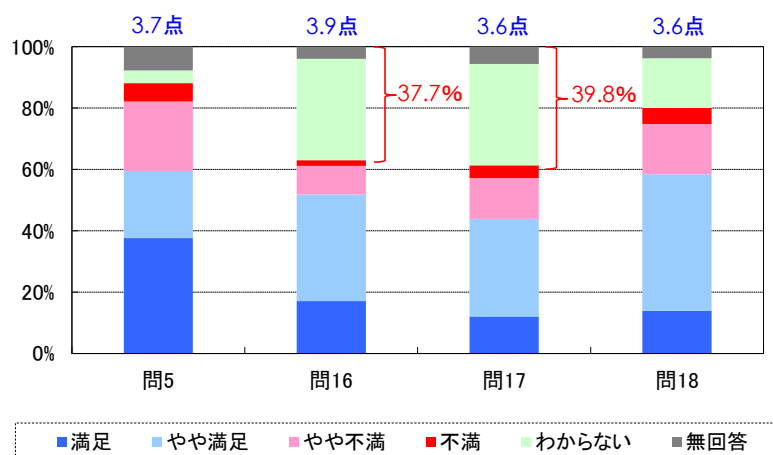


図3-7 住民満足度指標

5. ごみ処理の現状と課題

ごみ処理の現状課題と、それに対する施策の方向性として挙げられるものは、図 3-8 に示すとおりです。

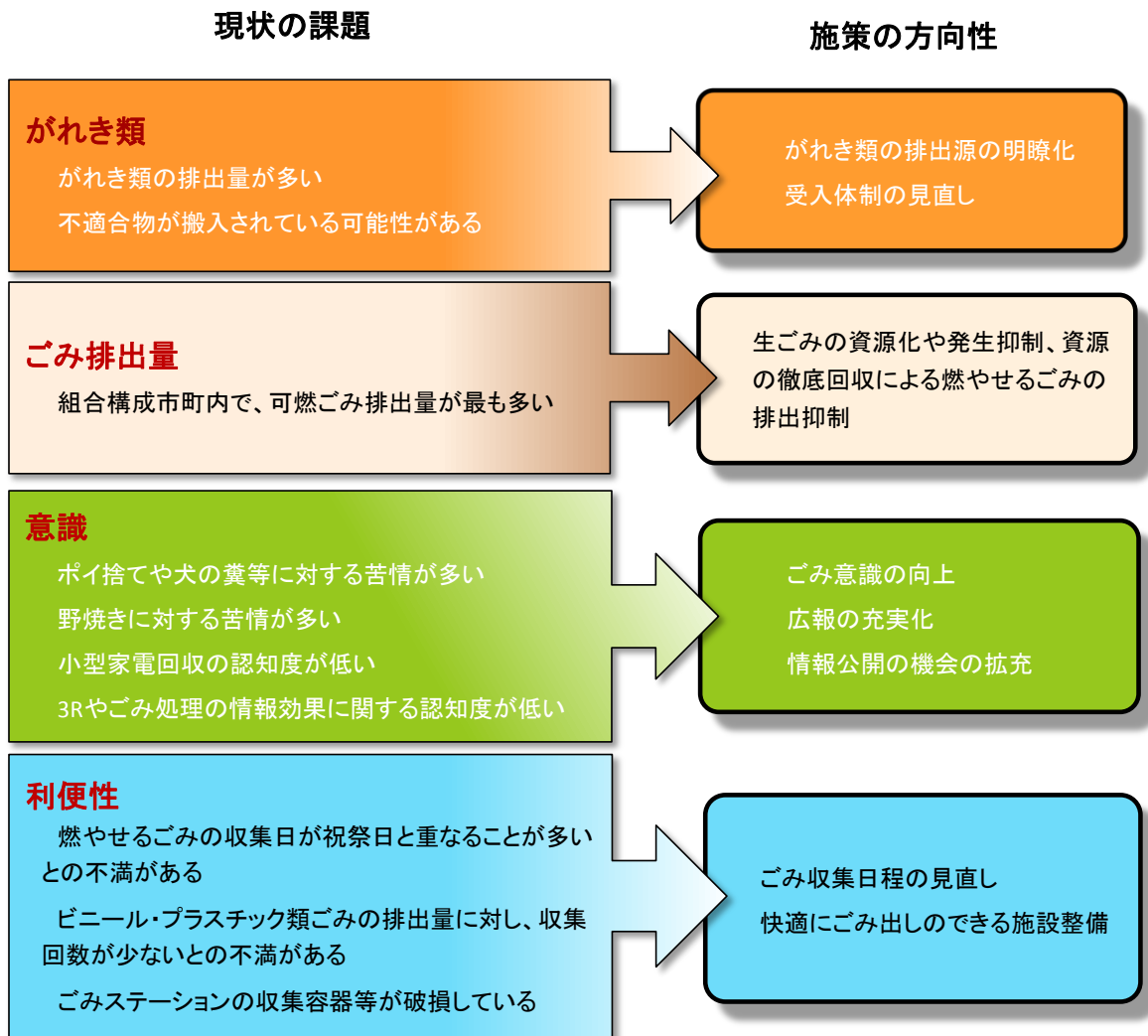


図 3-8 現状の課題と施策の方向性



第4章 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

1. 基本理念・基本方針

「第1章 計画策定の趣旨」にも示すとおり、これまで大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきた我々は、『天然資源の消費を抑えて環境負荷を低減させる』考えの下、より一層の2R活動や地域循環圏の形成に配慮した、循環型社会の構築が求められています。

本町は、山や河川等自然環境に富んだ土地柄で、特に、水資源については、その水を飲み体を洗った者が若返ったと言われることから「老いを養う」程の美泉と謳われ、『養老』という名前の由来にもなっている名水を有しています。

これらの自然環境と、地域住民の生活環境を保全するため、廃棄物の適正処理を推進し、快適な町づくりの実現を努めることを目的として、基本理念に「皆で一丸となってつくる 自然と人とを結ぶ 誇りと愛着のもてる 美しいまち」を掲げます。

基本理念のもと「発生抑制」「資源化」「適正処理」の3つの基本方針に従い、4つの施策とそれに基づく14の取り組みを定めます。

基本理念、基本方針、施策及び取り組みの関係は、図4-1に示すとおりです。

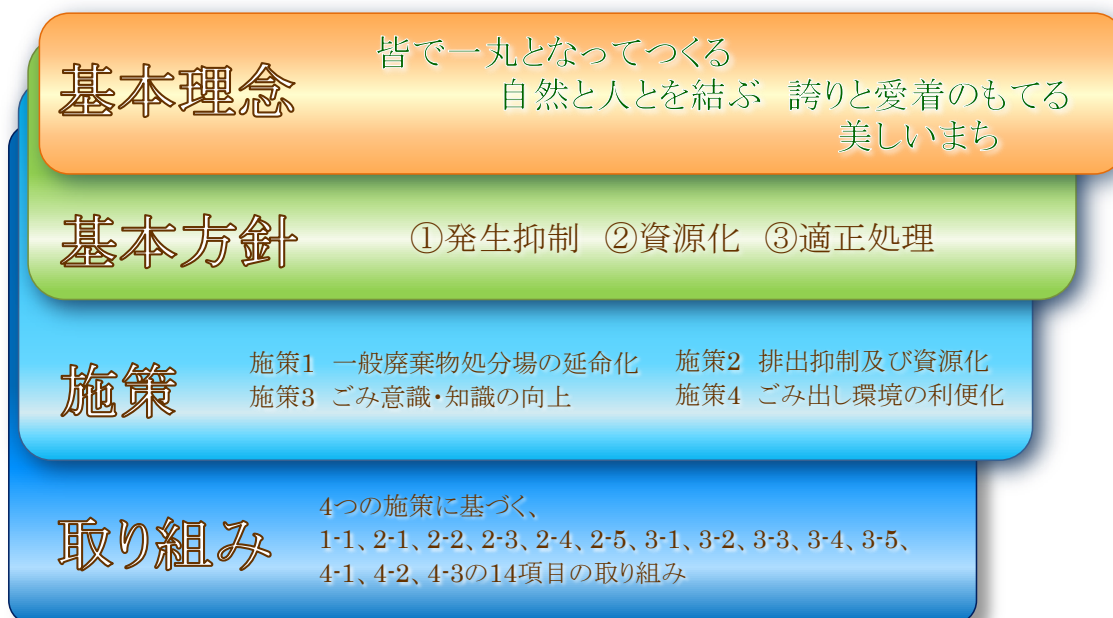


図4-1 基本理念、基本方針、施策、取り組みの関係

2. 数値目標

定める数値目標は、1人1日あたりごみ総排出量、1人1日あたり家庭系ごみ排出量、再生利用率、最終処分量の4項目とします。

(1) ごみ排出量

本計画では、ごみ排出量の目標値を設ける項目として、本町から排出される全てのごみのうち、町が把握できるごみ排出量である「ごみ総排出量」と家庭から排出される資源ごみを除く処理・処分を必要とする「家庭系ごみ」を選定しました。なお、これらの排出量は人口によって変動するため、本計画ではそれぞれを原単位へと換算した「1人1日あたりごみ総排出量」と「1人1日あたり家庭系ごみ排出量」の2項目を目標値として設定します。

本町の1人1日あたりごみ総排出量は、2014年度（平成26年度）の全国平均値947g/人・日よりも少ない894g/人・日（2015年度（平成27年度）実績値）です。しかし、1人1日あたり家庭系ごみ排出量は、国が第三次循環型社会形成推進基本計画及び廃棄物処理法に基づく基本方針で定める2020年度（平成32年度）の目標値500g/人・日を約10%上回る545g/人・日（2015年度（平成27年度））となっています。

このため、本計画におけるごみ量の目標値は、更なる減量化を目指し、以下に示すとおり、目標年次において1人1日あたりごみ総排出量は780g以下、1人1日あたり家庭系ごみ排出量は国の目標値に留意し470g以下と定めます。

1人1日あたりごみ総排出量

2026年度（平成38年度）において、**780g 以下**

1人1日あたり家庭系ごみ排出量

2026年度（平成38年度）において、**470g 以下**

(2) 再生利用率

2015 年度（平成 27 年度）における本町の再生利用率は 16.9%であり、前計画で定めた目標値 34.3%の達成が厳しい状況です。また、2014 年度（平成 26 年度）の全国平均値 20.6%と比較しても本町の再生利用率は約 4%低い状況となっています。

2017 年度（平成 29 年度）から開始予定であるプラスチック製容器包装の分別収集等による、再生利用率の上昇を見込み、廃棄物処理法に基づく基本方針で定める 2020 年度（平成 32 年度）の目標値約 21%から約 27%に留意し、以下に示すとおり、目標年次において 21%以上と定めます。

再生利用率

2026 年度（平成 38 年度）において、21%以上

(3) 最終処分量

2008 年度（平成 20 年度）まで本町では、焼却処理による最終処分量は毎年 1500t 近く排出されていましたが、養老ドリームパークの新設により、現在では 400t 近くまで減少されました。

本町所有の最終処分場で処分するがれき類等の搬入量は、過去 5 年で 1000～1200t を推移しています。搬入審査の方法を厳格化し、今まで見落とされていた不適合物等を除外することで、搬入量を削減できることを踏まえ、廃棄物処理法に基づく基本方針で定める 2020 年度（平成 32 年度）において 2012 年度（平成 24 年度）比で約 14%削減する国の目標に留意し、以下に示すとおり、目標年次において 780t 以下と定めます。

最終処分量

2026 年度（平成 38 年度）において、780t 以下

3. 現状課題及び目標達成のための施策

前述した課題と数値目標を達成するために実施する施策は、表 4-1 に示すとおりです。

表 4-1 各方針と施策の一覧

施策内容		対応方針		
		発生抑制	資源化	適正処理
施策 1 一般廃棄物処分場の延命化				
1-1	運用方法の見直し	○		○
施策 2 排出抑制及び資源化				
2-1	生ごみの減量化・堆肥化	○	○	
2-2	食品ロスの削減	○		
2-3	混入資源ごみの徹底分別		○	○
2-4	プラスチック製容器包装の分別回収		○	○
2-5	集団回収の促進		○	○
施策 3 ごみ意識・知識の向上				
3-1	ごみ処理実績に関する情報公開	○	○	
3-2	3R 活動の推進	○	○	
3-3	野焼き禁止に関する啓発			○
3-4	ポイ捨て等に対する注意喚起			○
3-5	ごみに関する出前講座等の実施	○	○	
施策 4 ごみ出し環境の利便化				
4-1	燃やせるごみの収集日程の検討			
4-2	ごみステーションの維持管理			
4-3	ごみ分別区分の細分表記		○	○

(1) 取り組み内容

4つの施策に基づく14の取り組み内容は、表4-2(1)(2)に示すとおりです。

表4-2(1) 14の取り組み内容

No.	施策	内容
施策1 一般廃棄物処分場の延命化		
1-1	運用方法の見直し	廃棄物の発生現場の確認、搬入直前の搬入物の確認等を実施し、搬入審査を厳格化します。
施策2 排出抑制及び資源化		
2-1	生ごみの減量化・堆肥化	生ごみの水切りや堆肥化を促進するため、水切りによる減量効果や水切り器の紹介、生ごみ堆肥の優良性等を効率的・効果的に周知する方法とその内容を検討し、啓発活動を実施します。
2-2	食品ロス※の削減	各種団体等と協力し、家庭における食品廃棄量を減らす調理方法の考案や食育指導等について検討し、推進します。 また、飲食店における取り組みとして、食べ残しを持ち帰る『ドギーバッグ』という運動がありますが、食中毒等の観点から、持ち帰り可能な料理の種類や持ち帰り方について、研究を行い、判断します。
2-3	混入資源ごみの徹底分別	広報やごみカレンダー等を通し、燃やせるごみ等に混入している雑がみ等、資源物の徹底した分別回収の協力について継続的に啓発します。
2-4	プラスチック製容器包装の分別回収	2016年度(平成28年度)まで実施していた「ビニール・プラスチック類ごみ」の分別方法を変更し、2017年度(平成29年度)より「プラスチック製容器包装」として回収し、資源化へと努めます。
2-5	集団回収の促進	集団回収で集める資源の中でも、特に地域による集団回収を進めることは、燃やせるごみの削減に繋がります。 燃やせるごみとして出されている古紙等(雑がみ含む)の分別を啓発するとともに、集団回収の取り組みを促進します。

※ 食品ロスとは、飲食店や家庭からごみとして排出される本来食べられたはずの食品廃棄物のことを言います(食べ残し、賞味期限切れ等)。

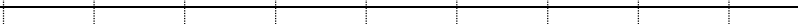
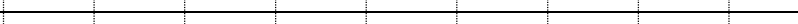
表 4-2 (2) 14 の取り組み内容

No.	施策	内容
施策 3 ごみ意識・知識の向上		
3-1	ごみ処理実績に関する情報公開	広報等を通し、年間ごみ排出量や1人当たりの処理経費等、前年度のごみ処理実績の報告を行い、住民のごみへの関心を向上させ、排出抑制の啓発に努めます。 必要に応じて住民対象の報告会等を実施し、口頭による報告と質疑応答を行い、住民の関心のある事項等をまとめ、今後の広報活動に活用します。
3-2	3R 活動の推進	循環型社会構築を目指し、3R 活動によるごみ処理経費の削減効果の紹介等、3R 活動を推進する効果的な啓発方法及び内容を検討し、実施します。
3-3	野焼き禁止に関する啓発	広報等を通し、野焼きに対する規則、罰則規定等を周知し、野焼き「しない・させない」ための指導を行います。
3-4	ポイ捨て等に対する注意喚起	町内のポイ捨てにおける現状を周知・再認識させ、生涯学習活動や広報、ポスター等を通し、ポイ捨てさせない指導を行います。 また、各種団体が実施している地域清掃活動によって集められたごみの現状（写真等）や総量等を取りまとめ、広報の内容としての利用を検討します。
3-5	ごみに関する出前講座等の実施	地域や各種団体及び小中学校等に職員が出向いて実施している生涯学習活動における、ごみに関する出前講座の実施を継続します。
施策 4 ごみ出し環境の利便化		
4-1	燃やせるごみの収集日程の検討	収集日が祝祭日と重なる頻度が多いことから、収集日のシフト化について収集運搬業者と検討を行います。
4-2	ごみステーションの維持管理	各ごみステーションの現状を定期的に把握し、設備の破損等があった場合、速やかな対応が行える体制を整えます。
4-3	ごみ分別区分の細分表記	2017 年度（平成 29 年度）より、『プラスチック製容器包装』の回収が開始されることを踏まえ、ごみ分別辞典を新たに作成し、ホームページでの公開や地域への配布を行います。

(2) 取り組みのスケジュール

施策の実施時期は、表 4-3 に示すとおりです。

表 4-3 取り組みのスケジュール

No.	取り組み	年度									
		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
1-1	運用方法の見直し	実施									
2-1	生ごみの減量化・堆肥化	検討		実施							
2-2	食品ロスの削減	検討		実施							
2-3	混入資源ごみの徹底分別	検討		実施							
2-4	プラスチック製容器包装の分別回収	実施									
2-5	集団回収の促進	実施									
3-1	ごみ処理実績に関する情報公開	実施									
3-2	3R 活動の推進	検討	実施								
3-3	野焼き禁止に関する啓発	実施									
3-4	ポイ捨て等に対する注意喚起	実施									
3-5	ごみに関する出前講座等の実施	継続									
4-1	燃やせるごみの収集日程の検討	検討		実施							
4-2	ごみステーションの維持管理	実施									
4-3	ごみ分別区分の細分表記	実施									

4. ごみの発生量及び排出量の見込み

本町における、将来ごみ発生量を予測しました。予測方法は、図 4-2 に示すとおりです。

将来ごみ発生量の予測は、人口の将来予測値及び過去 10 年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法です。

家庭系ごみ及び集団回収量については、（ごみの発生原単位推計結果）×（人口推計の予測値）×（年間日数）で算出し、事業系ごみについては、（ごみの発生原単位推計結果）×（年間日数）で算出しました。

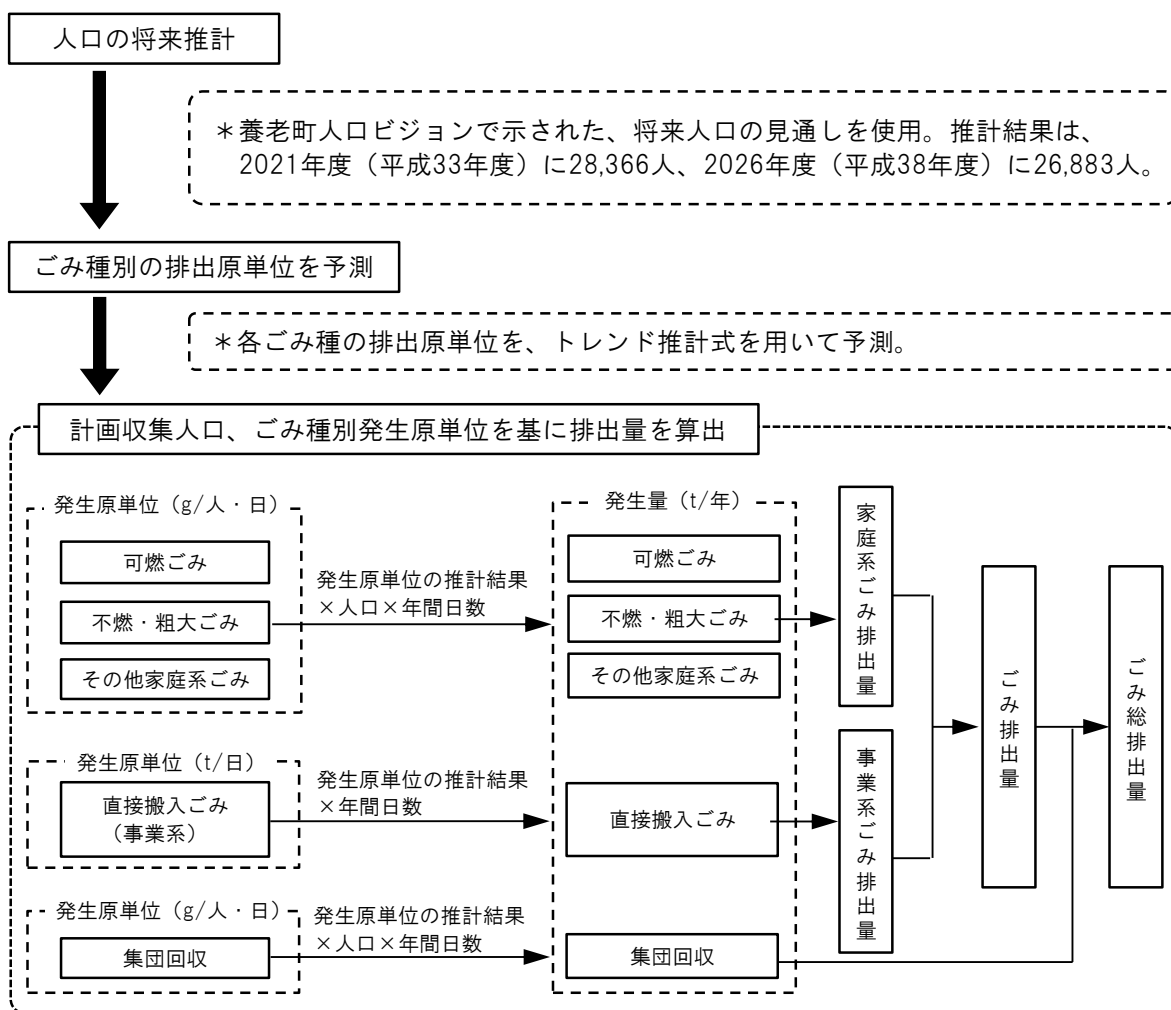


図 4-2 将来ごみ発生量の予測フロー

(1) 人口の将来推計

本計画で使用する推計人口は、養老町人口ビジョン（2015 年（平成 27 年）10 月）で示された人口の将来展望です。

使用した推計人口は、表 4-4 及び図 4-3 に示すとおりです。

表 4-4 将来人口推計結果

	年	人口（人）	備考
実績	2010 年（平成 22 年）	32,455	年度末人口
	2015 年（平成 27 年）	30,327	年度末人口
推計	2017 年（平成 29 年）	29,660	推計値
	2018 年（平成 30 年）	29,326	推計値
	2019 年（平成 31 年）	28,993	推計値
	2020 年（平成 32 年）	28,659	人口ビジョン
	2021 年（平成 33 年）	28,366	推計値
	2022 年（平成 34 年）	28,073	推計値
	2023 年（平成 35 年）	27,781	推計値
	2024 年（平成 36 年）	27,488	推計値
	2025 年（平成 37 年）	27,195	人口ビジョン
	2026 年（平成 38 年）	26,883	推計値

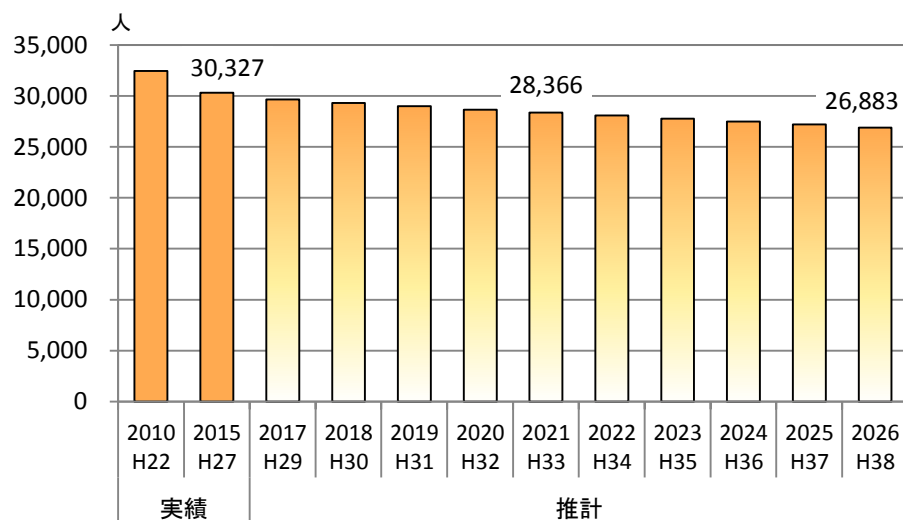


図 4-3 将来人口推計結果

(2) ごみ総排出量の将来予測

ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量の将来予測は、表4-5及び図4-4に示すとおりです。

表4-5 ごみ排出量の予測

項目	単位	実績	推計					
		2015 H27	2017 H29	2019 H31	2021 H33	2023 H35	2025 H37	2026 H38
人口	人	30,327	29,660	28,993	28,366	27,781	27,195	26,883
ごみ総排出量	t	9,922	8898.6	8638.9	8357.6	8149.6	7906.3	7798.2
可燃ごみ	t	6654.5	6201.4	5980.8	5823.0	5706.3	5561.6	5495.9
不燃ごみ(がれき含む)	t	1831.2	1143.1	1145.9	1143.1	1151.1	1148.9	1150.3
資源ごみ	t	312.9	522.0	590.2	571.0	556.3	539.3	531.3
有害ごみ	t	10.9	12.0	11.7	11.4	11.2	10.9	10.7
集団回収	t	1112.2	1020.2	910.3	809.1	724.7	645.7	610.0
1人1日あたり ごみ総排出量	g/人・日	894	822	814	807	802	797	795
1人1日あたり 家庭系ごみ排出量	g/人・日	545	467	464	469	474	479	482

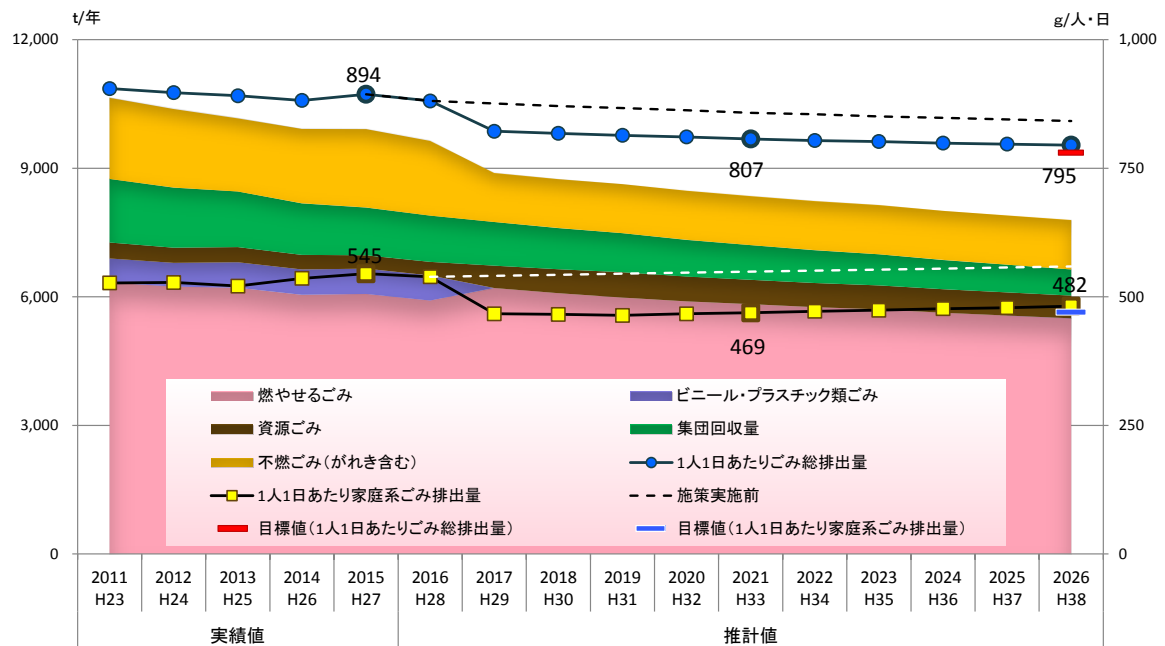


図4-4 ごみ排出量と1人1日あたりごみ総排出量の予測

(3) 再生利用率の将来予測

総資源化量と再生利用率の将来予測は、表 4-6 及び図 4-5 に示すとおりです。

表 4-6 再生利用率の予測

項目	単位	実績	推計					
		2015 H27	2017 H29	2019 H31	2021 H33	2023 H35	2025 H37	2026 H38
ごみ総排出量	t	9,922	8,899	8,639	8,358	8,150	7,906	7,798
総資源化量	t	1,680	1,824	1,779	1,657	1,559	1,461	1,417
資源ごみ※ (収集+直接搬入)	t	313	307	292	277	265	251	245
プラスチック製 容器包装※	t	0	215	298	294	292	288	286
集団回収	t	1,112	1,020	910	809	725	646	610
中間処理後 資源化量	t	255	281	279	277	278	276	276
再生利用率	%	16.9	20.5	20.6	19.8	19.1	18.5	18.2

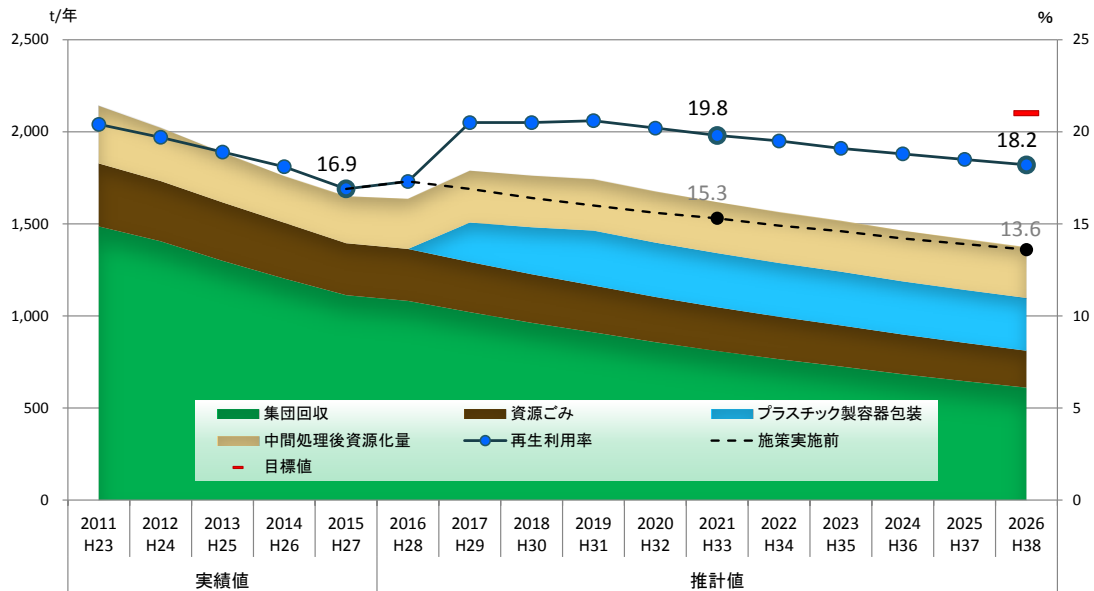


図 4-5 再生利用率の予測

※ プラスチック製容器包装については、2017 年度（平成 29 年度）からの分別収集開始による資源化量の増加を明示するため、分けて表記しています。

(4) 最終処分量の将来予測

最終処分量及び最終処分率の将来予測は、表 4-7 及び図 4-6 に示すとおりです。

表 4-7 最終処分量の予測

項目	単位	実績	推計					
		2015 H27	2017 H29	2019 H31	2021 H33	2023 H35	2025 H37	2026 H38
ごみ総排出量	t	9,922	8,899	8,639	8,358	8,150	7,906	7,798
最終処分量	t	1,619	964	941	920	904	884	875
がれき類	t	1,156	488	478	466	458	447	442
陶磁器類	t	29	36	36	36	35	35	34
中間処理後 最終処分量	t	434	441	427	418	411	402	399
最終処分率	%	16.3	10.8	10.9	11.0	11.1	11.2	11.2
1日あたり最終処分量	t/日	4.4	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4

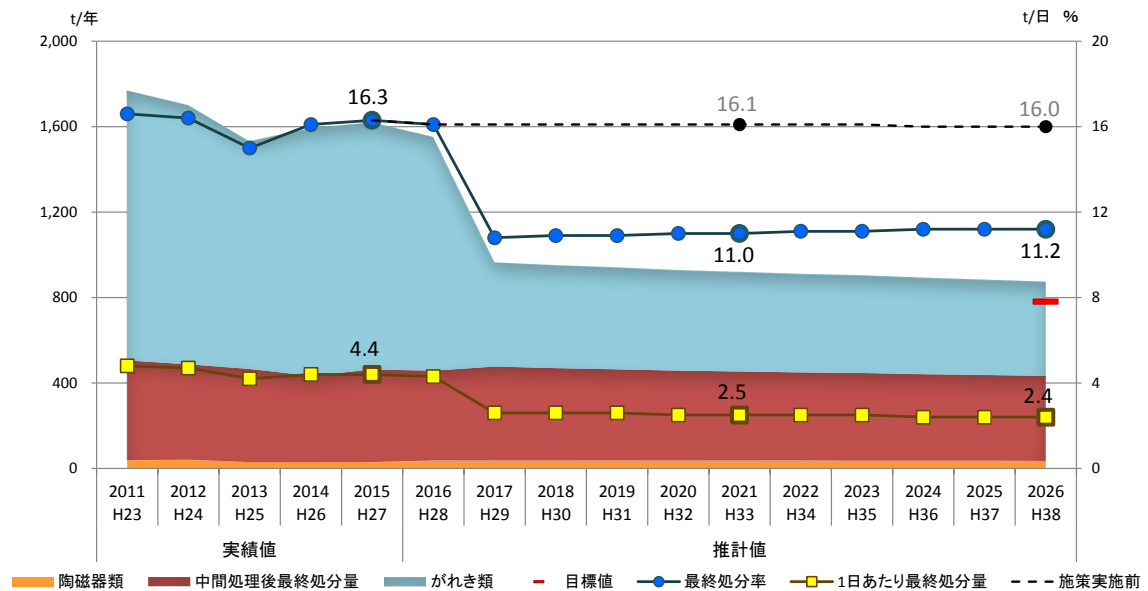


図 4-6 最終処分量の予測

(5) 事業系ごみ排出量の将来予測

事業系ごみの将来予測は、表 4-8 及び図 4-7 に示すとおりです。

表 4-8 事業系ごみの予測

項目	単位	実績	推計					
		2015 H27	2017 H29	2019 H31	2021 H33	2023 H35	2025 H37	2026 H38
ごみ総排出量	t	9,922	8,899	8,639	8,358	8,150	7,906	7,798
事業系ごみ	t	2,443	2,301	2,215	2,121	2,048	1,964	1,929
事業系ごみの割合	%	24.6	25.9	25.6	25.4	25.1	24.9	24.7
1日あたり事業系ごみ量	t/日	6.7	6.3	6.1	5.8	5.6	5.4	5.3

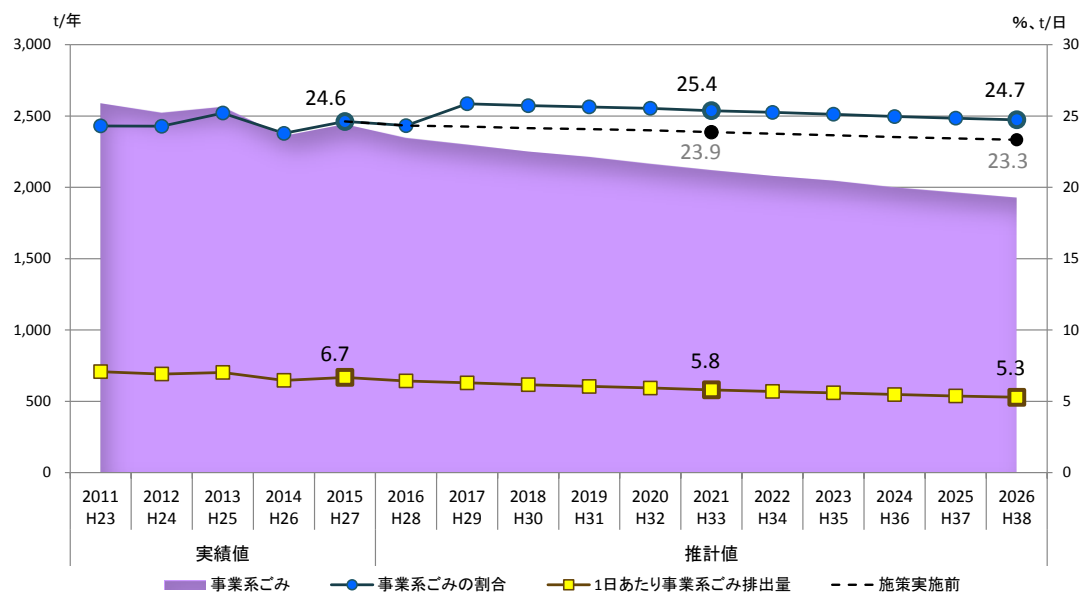


図 4-7 事業系ごみの予測

5. ごみ処理に関する基本的事項

① 収集運搬計画

2017 年度（平成 29 年度）以降の本町における生活系ごみ、事業系ごみの収集・運搬体制は、表 4-9 及び表 4-10 に示すとおりです。

生活系ごみについては、「ビニール・プラスチック類ごみ」を廃止し、資源ごみの「プラスチック製容器包装」の収集を開始します。事業系ごみについては、変更はありません。

なお、表 4-1 で示した施策における検討結果及び計画の見直しによる新たな取り組みの実施に応じて、収集・運搬体制も随時変更を行います。

表 4-9 生活系ごみの収集・運搬体制

項目		収集形態	収集方法	収集回数	収集容器
燃やせるごみ		委託	ステーション回収	週 2 回	指定袋
燃やせないごみ				月 1 回	指定袋
資源 ご み	プラスチック製容器包装			月 2 回	指定袋
	カン	直営		月 1 回	収集かご
	ビン			月 1 回	収集かご
		発泡スチロール・トレイ		委託	月 1 回
ペットボトル		月 1 回			収集かご
粗大ごみ		直営	戸別回収	随時	—
有害ごみ			拠点回収	年 2 回	—
乾電池				随時	—
小型家電				随時	—
直接搬入ごみ		排出者が自ら搬入			—

表 4-10 事業系ごみの収集・運搬体制

項目	収集形態	収集方法
事業系一般廃棄物（燃やせるごみ）	許可業者	個別収集
事業系一般廃棄物（燃やせないごみ）		
直接搬入ごみ	排出事業者が自ら搬入	

② 中間処理計画

目標年次における中間処理体制は、表 4-11 に示すとおりであり、2017 年度（平成 29 年度）より収集を開始する『プラスチック製容器包装』の中間処理は、養老ドリームパークに委託します。

なお、表 4-1 で示した施策における検討結果及び計画の見直しによる新たな取り組みの実施に応じて、中間処理の体制も随時変更を行います。

表 4-11 中間処理の体制

項目		中間処理体制
燃やせるごみ		養老ドリームパークの焼却施設で焼却処理を行います。
燃やせないごみ		西南濃粗大の破砕処理施設で、破砕・選別処理を行います。
粗大ごみ		
資源ごみ	プラスチック製容器包装	養老ドリームパークの中間処理施設で選別・圧縮・梱包を行い、資源再生業者に引き渡します。
	カン	回収後、資源再生業者に引き渡します。
	ビン	回収後、資源再生業者に引き渡します。
	発泡スチロール・トレイ	養老ドリームパークの中間処理施設で、圧縮・保管を行い、資源再生業者に引き渡します。
	ペットボトル	回収後、資源再生業者に引き渡します。
有害ごみ		西南濃粗大で、選別・保管を行い、処理業者に引き渡します。
小型家電		回収後、資源再生業者に引き渡します。

③ 最終処分計画

本町の最終処分場（弥八池）と祖父江最終処分場は、安定品目であるがれき類などの埋立のみである。両処分場合計の最終処分量は年間で 1000t を超えており、特に最終処分場（弥八池）の残余容量は 2016 年（平成 28 年）に実施した測定の結果より、3,857m³と埋立容積の 1 割を切っています。

今後は、受入体制について、表 4-1 に示した取り組み 1-1 の通り、運用方法の見直しを行い、最終処分量の縮減に努めます。

④ 目標年次におけるごみ処理フロー

目標年次である 2026 年度（平成 38 年度）のごみ処理フローは、図 4-8 に示すとおりです。

2017 年度（平成 29 年度）から、ビニール・プラスチック類ごみの分別方法を変更し、プラスチック製容器包装として、養老ドリームパークでの焼却処理から資源再生業者での資源化に変更します。

その他、計画の見直し等で変更があった場合、随時修正を行います。

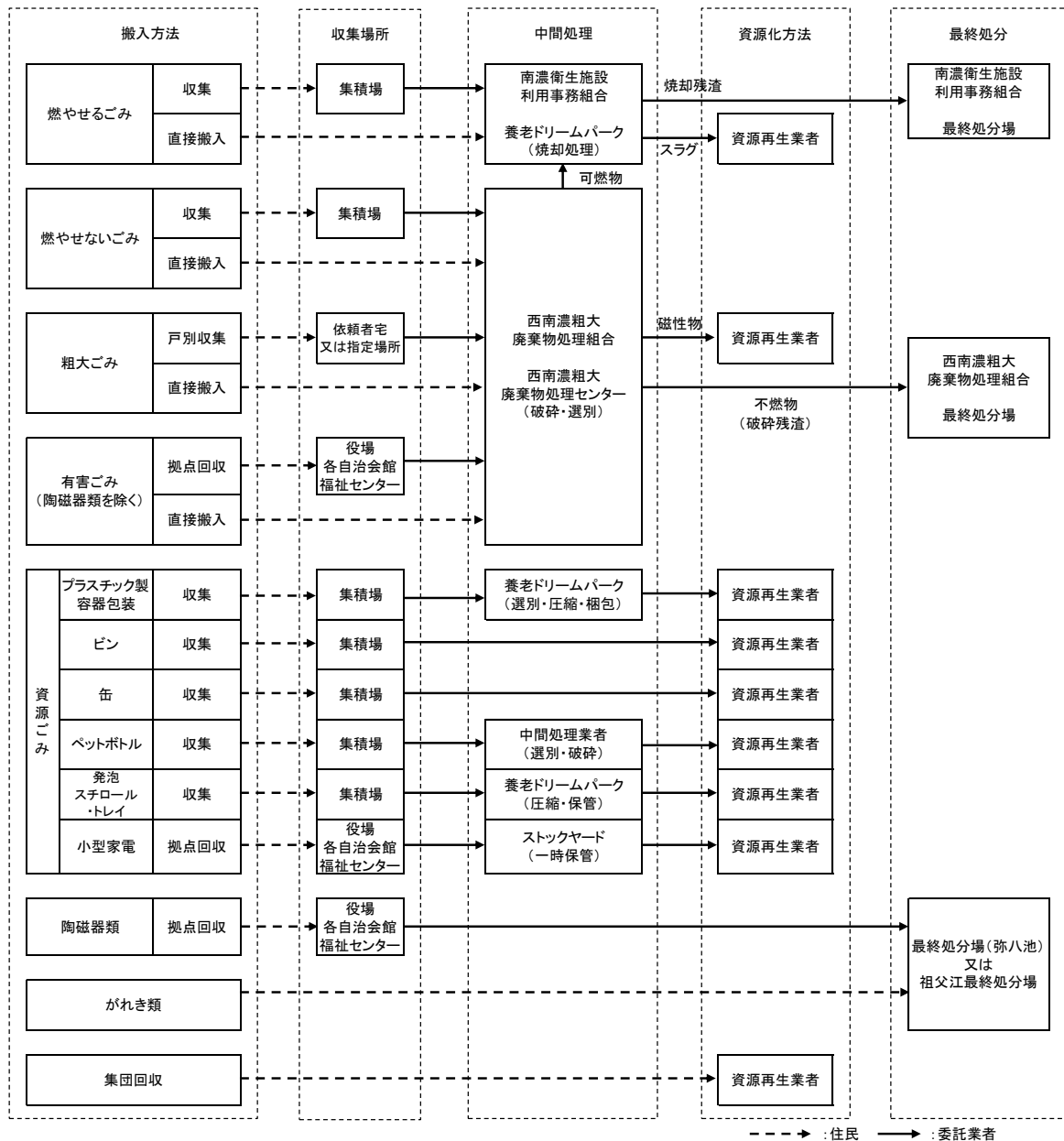


図 4-8 ごみ処理フロー（2026 年度（平成 38 年））

6. ごみ処理施設整備に関する事項

燃やせないごみ・粗大ごみ処理を委託している西南濃粗大について、施設の機能を長期的に維持するため、長寿命化計画の策定とこれに基づく基幹的設備改良工事の検討が必要です。

7. その他ごみの処理に関し必要な事項

① 災害対策

本町の災害時における廃棄物の処理は、地域防災計画に基づき実施します。

また、2007年（平成19年）6月に定めた「養老町震災廃棄物処理計画」以降、現在の被害想定に沿った被災時の災害廃棄物量などに支障が生じており、災害時の廃棄物処理を円滑に履行することは困難であることから、「災害廃棄物対策指針」（2014年（平成26年）環境省）、「岐阜県災害廃棄物処理計画」（2016年（平成28年）3月）に基づき、計画に沿ったマニュアル等の作成を検討していきます。

② 不適正排出及び不法投棄対策

不適正排出、不法投棄は、生活環境や自然環境へ多大な影響を及ぼすため、本計画の着実な実施と美しいまちづくり条例、規則に基づいて、取り組みを強化していく必要があります。

取り組み内容については、表 4-12 に示すとおりです。

表 4-12 不法投棄に関する取り組み

項 目	内 容
啓発の推進	広報等を通じて、町民や事業者にリサイクル費用の負担等を含めたごみの適正な処理方法を周知します。
監視体制の強化	不法投棄の多い場所に対し、重点的なパトロールの実施や、監視カメラの設置を行い、不法投棄させない環境づくりを進めます。
投棄者への対応	投棄者が判明した場合には、投棄者自身に処理させる等厳しく指導し、投棄者の調査や処罰については、警察と連携して厳格に対応します。



第5章 計画の推進

1. ごみ減量化推進協議会と計画の推進・公表

本計画の推進には、住民・事業者・行政の協働が必要です。本町では、ごみの減量化、再利用の推進方策等の一般廃棄物の減量化等に関する事項を協議するため、養老町ごみ減量化推進協議会が置かれています。常に、ごみ処理現場の状況を考慮した資源化及び適正処理を推進していくため、協議会を定期的に開催し、計画の進行管理に努めます。

また、住民や事業者の意見・要望を反映させ、本計画を効率的に推進していくため、ごみ減量化推進協議会によって進捗状況の管理と長期的展望に立ったシステムの選択を行い、「計画（Plan）」・「実行（Do）」・「評価（Check）」・「見直し（Action）」のPDCAサイクルで、継続的に本計画の点検・見直し・評価を実施します。

2. 地球温暖化への配慮

毎年、世界の温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素）の濃度は上昇し続けており、2016年（平成28年）10月には、2015年（平成27年）の二酸化炭素の世界の年平均濃度が400ppmを超えたと、世界気象機関が報道しました。2014年から2015年にかけての二酸化炭素年増加量も、最近10年の平均増加量を上回り、その増加量の伸びは2016年もなお続いています。

2015年（平成27年）にはCOP21（気候変動枠組条約第21回締約国会議）においてパリ協定が採択され、2016年（平成28年）11月に採択後からわずか1年で発効されました。日本も温室効果ガス排出量を2030年度（平成42年度）に2013年度（平成25年度）と比べて26%減らす目標の削減計画を立てています。

日本における2014年度（平成26年度）の廃棄物分野からの温室効果ガスの排出量は、総排出量の約2.3%を占めていますが、3Rの推進による焼却量の抑制や廃棄物からのエネルギーの有効活用等の推進により、2005年度（平成17年度）比で約8.8%減少しています。今後も、廃棄物分野からの排出量の削減を目指し、ごみの減量化、資源の循環、適正処理に努めていく必要があります。

第1章にも記載したように、循環型社会を構築することは、低炭素社会の形成にも繋がります。本町でも温室効果ガスの更なる削減を目指し、本計画では家庭から排出される化石燃料を原料としたプラスチック製容器包装のリサイクルをはじめ、ガラス瓶のリユースや生ごみ・食品ロスの削減を推進し、ごみ発生抑制を進め、循環型社会と低炭素社会の同時形成を行います。

資料編目次

資料1 本町の概要

1. 本町の概況	41
2. 気象	42
3. 人口動態	43
4. 産業の動向	45

資料2 ごみ量の将来予測

1. 個別予測の結果	49
2. ごみ発生量の予測結果	52

資料3 3Rや家庭のごみに関するアンケート集計結果

1. アンケート集計結果	57
--------------	----

資料4 策定の経緯

1. 策定の経緯	66
2. パブリックコメント	66



資料 1 本町の概要

1. 本町の概況

町制の施行によって本町は 1954 年（昭和 29 年）に誕生し、2014 年（平成 26 年）で町制施行から 60 周年を迎えました。

岐阜県の南西部、濃尾平野の西端に位置し、海拔 0m の平野部から、標高 859m の養老山を擁する養老山地、そしてその山麓部と、変化に富んだ景観を持つ自然に恵まれた町です。養老山地からは豊かな水の恵みを受け、伝説の滝としてその名を全国に知られる養老の滝や環境省の名水百選に選ばれている菊水泉の源となっています。

本町の位置は、図 5-1 に示すとおりです。



図 5-1 養老町位置図

2. 気象

本町の気候は、主に太平洋側気候ですが、冬季には伊吹おろしが吹き、最低気温は氷点下となり、降雪が見られます。

気象観測記録については、表 5-1 及び図 5-2 に示すとおりです。

表 5-1 気象観測記録（2015 年（平成 27 年））

月	降水量	平均気温	最高気温	最低気温
1月	101.0	4.5	12.6	-1.7
2月	55.0	5.0	15.1	-2.1
3月	162.5	8.7	21.0	-1.2
4月	162.0	14.2	29.4	4.0
5月	174.5	20.3	32.1	9.2
6月	336.0	21.8	32.0	12.8
7月	287.5	26.1	36.2	18.2
8月	297.0	27.4	38.3	20.7
9月	321.0	22.2	29.8	14.4
10月	71.5	17.3	26.4	8.4
11月	150.5	13.4	24.1	3.2
12月	146.5	8.8	22.0	-0.4
年間	2,265.0	15.8	—	—

出典：養老町消防本部「消防年報2016」

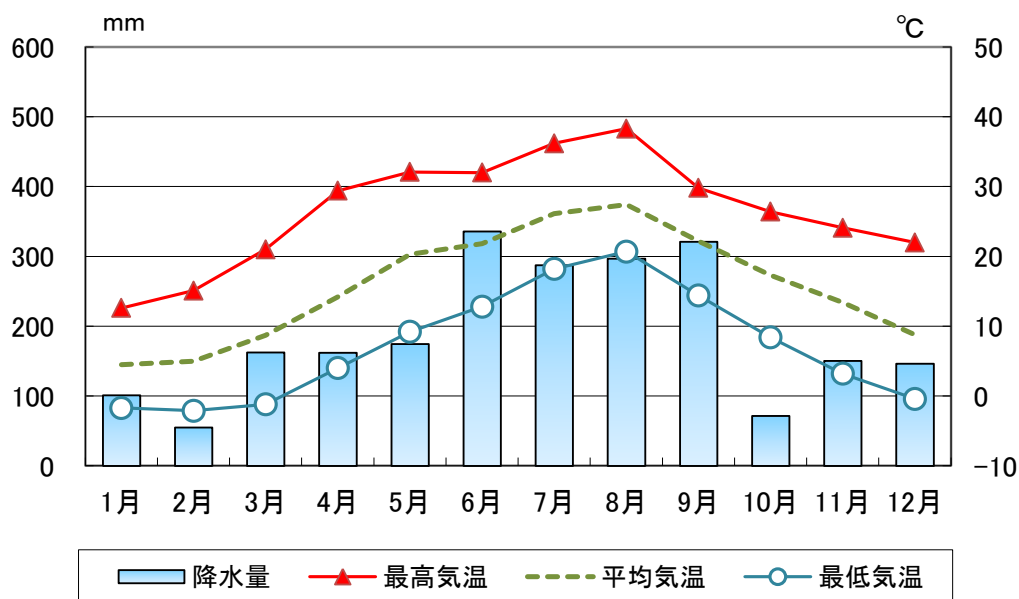


図 5-2 気温と降水量

3. 人口動態

(1) 人口及び世帯数

本町の人口及び世帯数の推移は、表 5-2 及び図 5-3 に示すとおりです。

2015 年度（平成 27 年度）3 月 31 日現在 30,327 人であり、世帯数は 10,292 世帯となっています。過去 10 年間の経年変化をみると、人口と 1 世帯当たりの人口ともに減少傾向にあります。

表 5-2 人口及び世帯数の推移

年度		人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たりの 人口 (人/世帯)
2006	H18	33,508	10,035	3.34
2007	H19	33,179	10,072	3.29
2008	H20	33,051	10,153	3.26
2009	H21	32,728	10,136	3.23
2010	H22	32,455	10,178	3.19
2011	H23	32,179	10,195	3.16
2012	H24	31,738	10,212	3.11
2013	H25	31,296	10,235	3.06
2014	H26	30,814	10,258	3.00
2015	H27	30,327	10,292	2.95

注) 各年度3月31日付

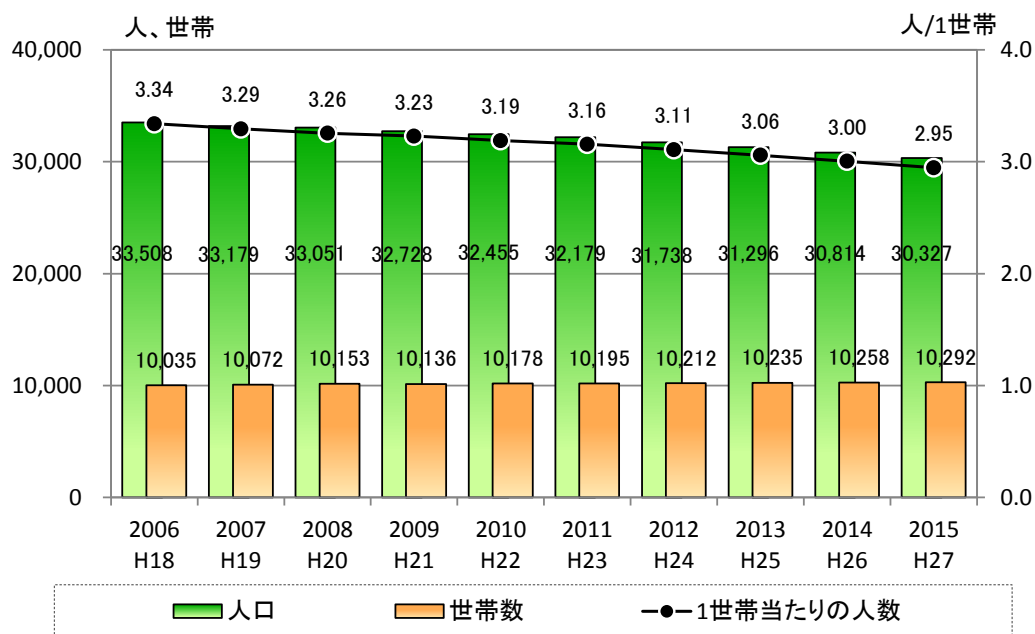
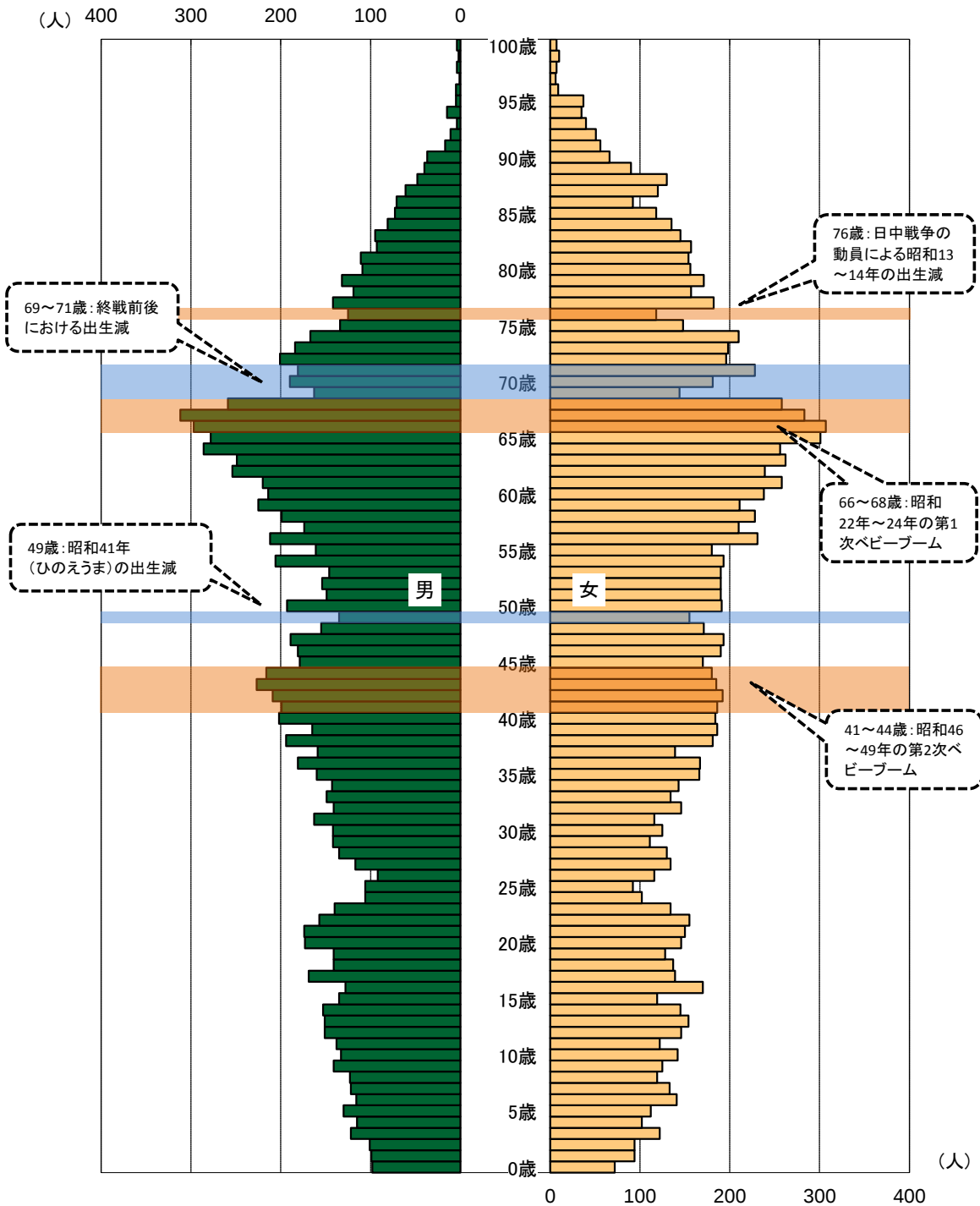


図 5-3 人口及び世帯数の推移

(2) 人口ピラミッド

本町の2015年(平成27年)7月における人口構成は、図5-4に示すとおりです。
若い世代の人口が少なく、60代から70代にかけての人口が最も多くなっています。



出典：総務省統計局「国勢調査」

図 5-4 養老町人口ピラミッド (2015 年 (平成 27 年) 7 月)

4. 産業の動向

(1) 産業別就業人口

本町の産業別就業人口は、表 5-3 及び図 5-5 に示すとおりです。

2010 年（平成 22 年）における産業別就業人口の割合は、第 1 次産業 3.6%、第 2 次産業 39.0%、第 3 次産業 57.0%となっており、第 1 次産業と第 2 次産業の割合は岐阜県全域の産業別就業人口よりも割合が高くなっています。

表 5-3 産業別就業人口の推移

単位：人、%

年		第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能	就業人口
2000	H12	749 (4.5)	7,256 (43.3)	8,733 (52.2)	5 (0.0)	16,743
2005	H17	724 (4.4)	6,870 (42.0)	8,745 (53.4)	33 (0.2)	16,372
2010	H22	549 (3.6)	5,951 (39.0)	8,689 (57.0)	54 (0.4)	15,243
岐阜県(H27)		35,700 (3.2)	325,300 (33.6)	635,600 (63.2)	16700 (1.6)	1,013,500

出典：総務省統計局「国勢調査」

注) 岐阜県の値は平成27年速報値、養老町は速報値未発表

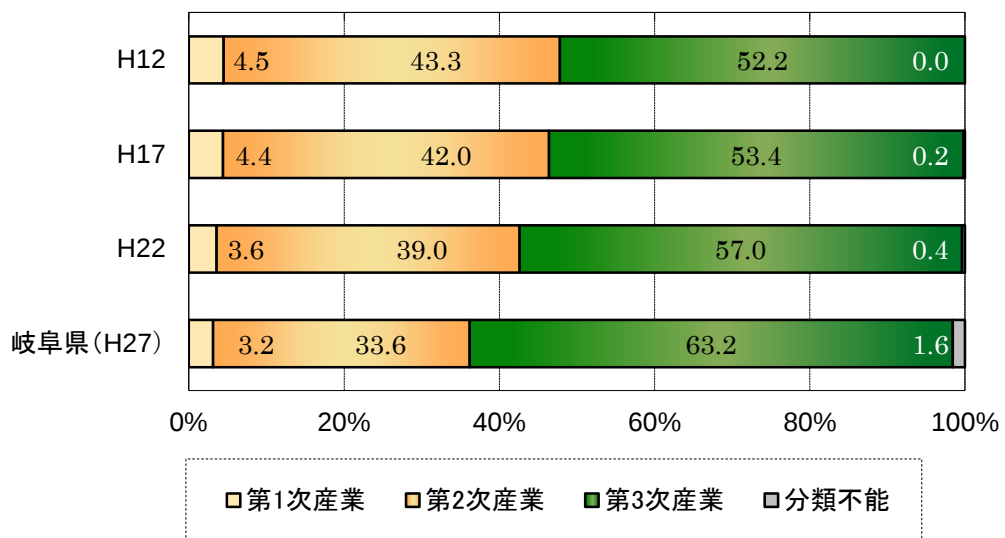


図 5-5 産業別就業人口割合の推移

(2) 農 業

本町における農家数及び経営耕地面積は、表 5-4、表 5-5 及び図 5-6 に示すとおりです。

総農家数は、2000 年（平成 12 年）から 2010 年（平成 22 年）の 10 年間に於いて減少傾向にあります。また、専業農家は過去 10 年間で 1 割程度減少したのに対し、第 2 種兼業農家の戸数は半分以上と、著しく減少しています。

樹園地を除く経営耕地面積は、2005 年（平成 17 年）と比較して、2015 年（平成 27 年）には増加しています。

表 5-4 農家数の推移

単位：戸

年		総農家数	専業農家	兼業農家※		自給的農家
				第1種	第2種	
2000	H12	2,452	121	65	1,985	281
2005	H17	2,021	127	105	1,373	416
2010	H22	1,489	106	48	896	439

※兼業農家第1種は農業所得を主とする兼業農家、第2種は農業所得を従とする兼業農家
各年2月1日付

出典：農林水産省「農林業センサス」

表 5-5 経営耕地面積の推移

単位：ha

年		合計	田	畑	樹園地
2005	H17	1,936	1,843	76	17
2010	H22	1,624	1,549	59	16
2015	H27	2,326	2,215	99	12

出典：農林水産省「農林業センサス」

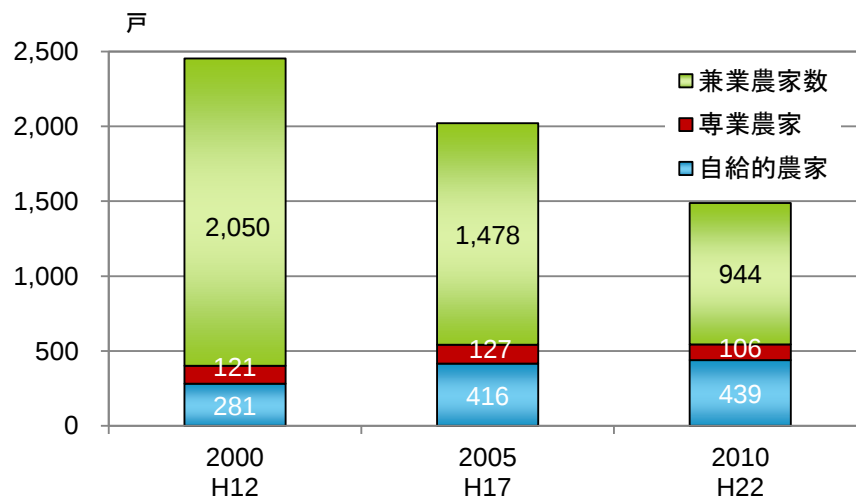


図 5-6 各農家戸数の推移

(3) 工 業

本町の事業者数、従業員数及び製造品出荷額は表 5-6 及び図 5-7 に示すとおりです。

製造品出荷額は 2009 年（平成 21 年）から 2014 年（平成 26 年）の 5 年で上昇傾向にあります。従業員数は、事業所の増減に比例して変動しており、2012 年（平成 24 年）、2013 年（平成 25 年）に微増し、2014 年（平成 26 年）に再び減少しました。

表 5-6 事業所数、従業員数及び製造品出荷額の推移

年		事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
2009	H21	101	2,760	65,482
2010	H22	94	2,706	64,671
2012	H24	106	2,897	72,990
2013	H25	102	2,898	72,279
2014	H26	95	2,845	80,348

各年12月31日付

出典：経済産業省「工業統計」

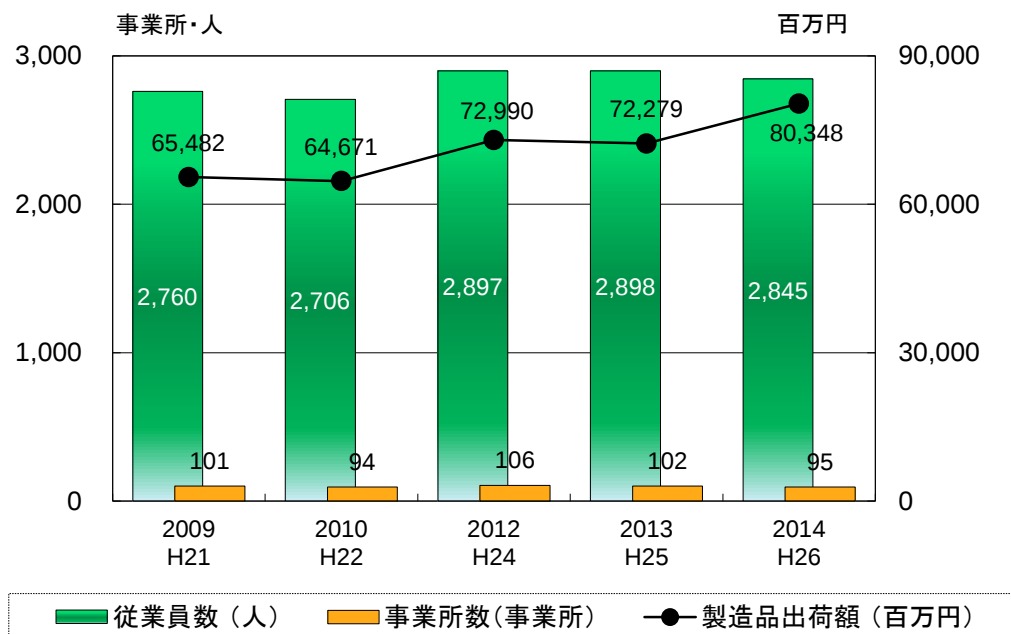


図 5-7 事業所数、従業員数及び製造品出荷額の推移

(4) 商 業

本町における卸売業の年間商品販売額は、表 5-7 及び図 5-8 に示すとおりです。

1997 年（平成 9 年）以降、2007 年（平成 19 年）まで増加傾向にありましたが、2014 年（平成 26 年）には 2007 年（平成 19 年）の 8 割程度まで減少しました。小売業は 1997 年（平成 9 年）以降、2014 年（平成 26 年）まで増加傾向にあります。

表 5-7 商店数、従業員数及び年間商品販売額の推移

年	事業所数	従業員数 (人)	年間商品販売額(百万円)		
			計	卸売業	小売業
1997	H9	361	27,813	10,713	17,100
1999	H11	389	31,289	10,336	20,954
2002	H14	384	51,093	26,670	24,424
2004	H16	361	49,837	24,927	24,910
2007	H19	325	60,398	33,696	26,701
2014	H26	250	56,656	26,228	30,428

1999 年（平成 11 年）、2014 年（平成 26 年）は 7 月 1 日付、その他は 6 月 1 日付

出典：経済産業省「商業統計調査」

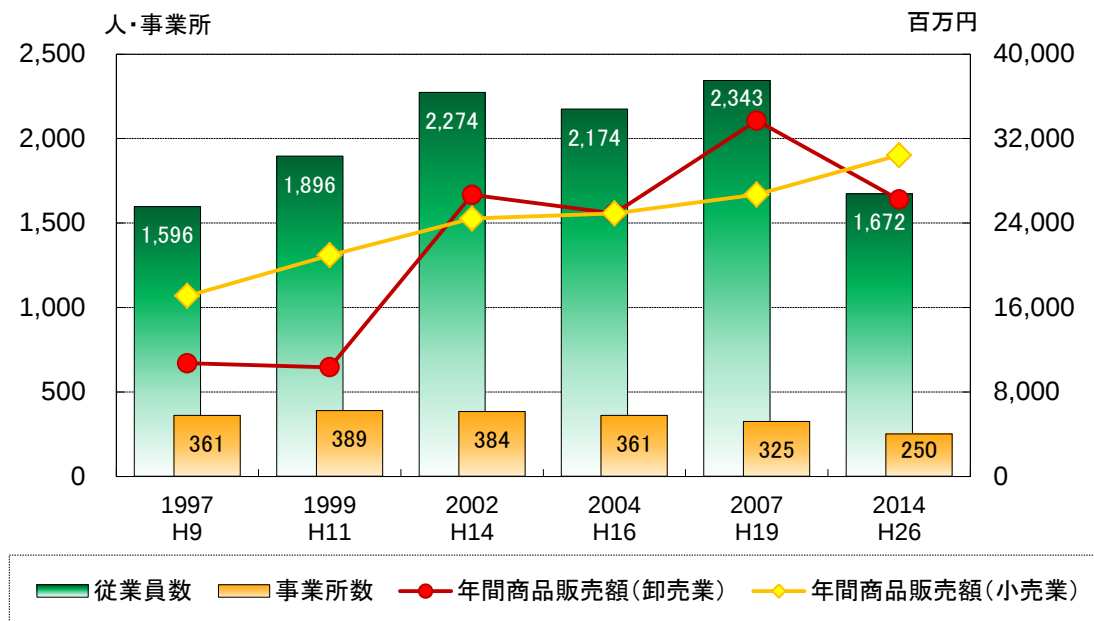


図 5-8 事業所数、従業員数及び年間商品販売額の推移



資料2 ごみ量の将来予測

1. 個別予測の結果

(1) ごみ発生量の予測

本計画ではごみ発生量の予測手法としてトレンド予測を採用し、直近5年間、または10年間の過去の実績値を用いました。

また、複数の回収方法及び分別区分のあるごみについては、それぞれ合算してトレンド予測を行い、過去5年間の実績値の平均から算出した按分率によって、各回収方法及び分別区分のごみ排出量へ換算しました。按分率は以下に示すとおりです。

なお、下記に按分率の記載のないごみについては、按分は行わず、直接トレンド予測を行いました。

① 回収方法別の按分率

本町では、家庭系ごみである燃やせるごみと燃やせないごみ・粗大ごみの回収方法には町の収集と町民による直接搬入、資源ごみの缶には収集と町民による集団回収があり、その按分率は表6-1に示すとおりです。

表 6-1 回収方法別の按分率

ごみ種別	収集	直接搬入	集団回収
燃やせるごみ(家庭系ごみ)	97.0%	3.0%	—
燃やせないごみ・粗大ごみ(家庭系ごみ)	71.3%	28.7%	—
缶(資源ごみ)	73.8%	—	26.2%

② 蛍光灯と乾電池の按分率

有害ごみの分別区分には蛍光灯と乾電池があり、その按分率は表 6-2 に示すとおりです。

表 6-2 蛍光灯と乾電池の按分率

ごみ種別	蛍光灯	乾電池
有害ごみ	68.8%	31.2%

③ ビンの色区分の按分率

本町で収集しているビンには色区分があります。予測はビン全体の排出量から行っており、色別の排出量を算出するため、按分を行いました。その按分率は表 6-3 に示すとおりです。

表 6-3 色区分の按分率

ごみ種別	無色	茶色	その他
ビン	44.1%	43.6%	12.3%

(2) 中間処理・資源化・最終処分量の予測

本町で収集された燃やせるごみ、燃やせないごみ・粗大ごみは、養老ドリームパーク及び西南濃粗大にて中間処理された後、各処分方法へと分別されるため、過去5年間の実績値の平均から算出した按分率によって、それぞれ換算しました。

① 燃やせるごみ

燃やせるごみは、養老ドリームパークで中間処理された後、資源化、最終処分へと分けられ、その按分率は表 6-4 に示すとおりです。

表 6-4 燃やせるごみの資源化及び最終処分の按分率

項 目	資源化	最終処分
2011～2015 年度(平成 23～27 年度) 平均値	2.38%	6.48%

② 燃やせないごみ・粗大ごみ

燃やせないごみ・粗大ごみは西南濃粗大にて中間処理された後、可燃物、資源化及び最終処分へと分けられ、その按分率は表 6-5 に示すとおりです。

表 6-5 燃やせないごみ・粗大ごみの可燃物、資源化及び最終処分の按分率

項 目	可燃物	資源化	最終処分
2011～2015 年度(平成 23～27 年度) 平均値	72.63%	21.18%	6.19%

2. ごみ発生量の予測結果

前項の予測結果から算出した将来のごみ発生量は、表 6-6～表 6-9 に示すとおりです。

表 6-6 ごみ発生量の実績及び将来予測（施策実施前）

項目		単位	実績										見通し										
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
処理区域内人口(各年3月31日付)		人	33,508	33,179	33,051	32,728	32,455	32,179	31,738	31,296	30,814	30,327	29,993	29,660	29,326	28,993	28,659	28,366	28,073	27,781	27,488	27,195	26,883
目標値	1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	1,057	1,055	993	953	892	905	897	891	882	894	881	876	871	867	863	858	855	851	848	845	842
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	644	641	565	547	505	527	528	521	536	545	539	541	543	545	547	549	551	553	555	557	559
	再生利用率	%	18.9	18.1	19.7	21.1	21.7	20.4	19.7	18.9	18.1	16.9	17.3	16.9	16.4	16.0	15.6	15.3	14.9	14.6	14.2	13.9	13.6
	最終処分量	t/年	4,106.8	4,309.6	3,229.7	2,172.2	1,709.3	1,768.4	1,699.8	1,530.8	1,593.4	1,619.5	1,551.6	1,526.6	1,501.7	1,481.2	1,452.8	1,430.3	1,408.2	1,390.1	1,364.4	1,343.1	1,321.1
排出量	ごみ総排出量	t/年	12,923.02	12,806.12	11,980.57	11,381.88	10,563.41	10,654.02	10,392.33	10,172.66	9,924.72	9,921.66	9,646.54	9,485.00	9,324.96	9,197.76	9,025.08	8,887.70	8,757.71	8,655.27	8,504.93	8,385.74	8,265.23
	収集ごみ	t/年	5,512.94	5,280.21	5,164.49	5,100.73	4,936.14	5,025.29	4,981.71	4,986.78	4,938.58	4,916.85	4,849.62	4,815.94	4,782.20	4,760.98	4,713.68	4,685.97	4,658.03	4,642.47	4,601.52	4,573.03	4,541.22
	燃やせるごみ	t/年	4,039.00	3,924.00	3,841.00	3,785.00	3,676.00	3,752.00	3,740.00	3,703.00	3,697.00	3,686.00	3,623.02	3,596.79	3,570.24	3,553.08	3,516.30	3,494.03	3,471.48	3,458.19	3,425.72	3,402.42	3,376.58
	ビニール・プラスチック類	t/年	577.00	576.00	562.00	576.00	561.00	564.00	552.00	599.00	594.00	589.00	582.85	584.81	586.80	590.20	590.39	592.95	595.44	599.49	600.28	602.52	604.43
	不燃ごみ	t/年	490.85	427.18	398.30	371.96	330.78	354.65	352.60	355.45	333.97	348.57	350.03	350.11	350.14	350.94	349.62	349.65	349.61	350.42	349.24	349.02	348.38
	燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	476.15	416.15	376.02	350.55	308.50	316.92	312.97	325.87	304.27	319.77	314.67	314.49	314.39	315.07	313.95	314.14	314.26	315.24	314.43	314.48	314.23
	陶磁器類	t/年	14.70	11.03	22.28	21.41	22.28	37.73	39.63	29.58	29.70	28.80	35.36	35.62	35.75	35.87	35.67	35.51	35.35	35.18	34.81	34.54	34.15
	最終処分場(弥八池)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父江最終処分場	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	356.70	354.18	342.28	327.12	318.07	303.30	282.36	281.55	272.22	263.19	255.04	245.84	237.95	230.24	223.22	215.28	208.20	201.08
	ペットボトル	t/年	30.10	30.66	45.57	52.11	50.78	46.01	45.34	47.84	46.98	39.96	43.57	43.09	42.60	42.23	41.63	41.21	40.78	40.47	39.93	39.51	39.05
	発泡スチロール・トレイ	t/年	33.25	28.32	18.97	18.91	19.41	19.23	18.72	18.04	17.32	16.46	15.76	15.05	14.45	13.79	13.18	12.63	12.09	11.59	11.04	10.52	10.01
	ビン	t/年	260.00	209.00	217.44	220.18	220.68	215.52	205.90	199.97	191.15	179.96	179.32	173.97	168.69	163.94	158.37	153.54	148.78	144.37	139.36	134.80	130.22
	無色ビン	t/年	-	-	93.38	95.98	96.88	95.48	91.62	88.22	84.92	77.56	79.06	76.70	74.37	72.28	69.82	67.69	65.60	63.65	61.44	59.43	57.41
	茶色ビン	t/年	-	-	99.78	98.32	97.96	92.92	89.26	88.54	83.26	79.03	78.26	75.93	73.62	71.55	69.12	67.01	64.93	63.01	60.82	58.83	56.83
	その他	t/年	-	-	24.28	25.88	25.84	27.12	25.02	23.21	22.97	23.37	22.00	21.34	20.70	20.11	19.43	18.84	18.25	17.71	17.10	16.54	15.98
	缶	t/年	70.00	75.00	70.08	65.50	63.31	61.52	57.16	52.22	47.85	45.98	42.90	40.11	37.45	35.08	32.66	30.57	28.59	26.79	24.95	23.37	21.80
	有害ごみ	t/年	12.74	10.05	11.13	11.07	14.18	12.36	9.99	11.26	10.31	10.92	12.18	12.01	11.83	11.72	11.53	11.39	11.26	11.15	11.00	10.87	10.74
	蛍光灯	t/年	7.08	4.91	6.07	6.03	10.08	8.50	6.68	7.77	7.05	7.75	8.38	8.26	8.14	8.06	7.93	7.84	7.75	7.67	7.57	7.48	7.39
	乾電池	t/年	5.66	5.14	5.06	5.04	4.10	3.86	3.31	3.49	3.26	3.17	3.80	3.75	3.69	3.66	3.60	3.55	3.51	3.48	3.43	3.39	3.35
	直接搬入ごみ	t/年	5,577.90	5,733.41	5,033.75	4,640.13	4,040.34	4,143.29	4,005.16	3,887.08	3,783.59	3,892.62	3,715.39	3,648.88	3,580.45	3,526.52	3,455.01	3,392.61	3,335.06	3,288.09	3,220.42	3,167.05	3,114.00
	燃やせるごみ	t/年	2,813.58	2,830.21	2,944.20	2,724.75	2,562.36	2,576.04	2,497.92	2,502.67	2,345.99	2,379.54	2,288.95	2,234.47	2,181.45	2,135.34	2,079.03	2,029.78	1,981.62	1,940.23	1,888.95	1,844.42	1,800.91
	家庭系	t/年	115.78	102.59	102.78	118.31	106.05	124.21	117.25	113.47	111.26	114.29	113.18	112.36	111.53	110.99	109.85	109.15	108.44	108.03	107.02	106.29	105.48
	事業系	t/年	2,697.80	2,727.62	2,841.42	2,606.44	2,456.31	2,451.83	2,380.67	2,389.20	2,234.73	2,265.25	2,175.77	2,122.11	2,069.92	2,024.35	1,969.18	1,920.63	1,873.18	1,832.20	1,781.93	1,738.13	1,695.43
	不燃ごみ	t/年	2,764.32	2,903.20	2,089.55	1,875.41	1,448.87	1,538.06	1,483.47	1,350.35	1,403.35	1,482.58	1,392.50	1,379.33	1,362.82	1,353.83	1,337.69	1,323.49	1,313.07	1,306.38	1,289.13	1,279.35	1,268.94
	燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	278.72	257.55	307.05	337.21	268.62	275.11	270.42	285.10	242.55	326.23	298.07	305.30	308.90	317.00	323.33	327.05	334.40	342.69	345.42	352.74	359.94
	家庭系(個人)	t/年	150.84	97.44	117.57	135.69	117.76	136.70	126.95	109.44	115.70	148.41	126.52	126.45	126.40	126.68	126.23	126.30	126.35	126.75	126.42	126.44	126.34
	事業系(業者＋減免)	t/年	127.88	160.11	189.48	201.52	150.86	138.41	143.47	175.66	126.85	177.82	171.55	178.85	182.50	190.32	197.10	200.75	208.05	215.94	219.00	226.30	233.60
	がれき類	t/年	2,485.6	2,645.7	1,782.5	1,538.2	1,180.3	1,263.0	1,213.1	1,065.3	1,160.8	1,156.4	1,094.43	1,074.03	1,053.92	1,036.83	1,014.36	996.44	978.67	963.69	943.71	926.61	909.00
	最終処分場(弥八池)	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父江最終処分場	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	資源ごみ(養老ドリームパーク)	t/年	-	-	-	39.97	29.11	29.19	23.77	34.06	34.25	30.50	33.94	35.08	36.18	37.35	38.29	39.34	40.37	41.48	42.34	43.28	44.15
	集団回収量	t/年	1,832.18	1,792.51	1,782.33	1,641.01	1,586.93	1,485.44	1,405.46	1,298.80	1,202.55	1,112.19	1,081.53	1,020.18	962.31	910.26	856.39	809.12	764.62	724.71	682.99	645.66	610.01
	新 聞	t/年	820.10	863.99	862.58	759.82	750.36	683.60	662.74	592.25	547.26	512.77	498.22	469.30	442.08	417.55	392.17	369.73	348.70	329.64	309.82	292.03	275.04
	雑 誌	t/年	589.83	519.11	506.92	464.02	426.77	399.22	363.57	346.14	316.08	292.46	270.41	250.62	232.28	215.83	199.38	185.02	171.63	159.63	147.59	136.88	126.87
	ダンボール	t/年	281.54	269.25	273.32	283.08	277.46	265.96	252.61	233.82	220.88	200.53	209.76	202.77	195.88	189.73	182.85	176.84	171.02	165.84	159.93	154.65	149.44
	布類	t/年	98.57	100.18	102.39	98.96	100.85	99.91	104.74	93.15	86.76	79.78	75.54	70.80	66.26	62.18	58.06	54.36	50.93	47.89	44.75	41.89	39.15
	アルミ缶	t/年	38.64	36.27	31.78	29.72	25.48	26.69	12.11	20.86	18.82	16.56	15.23	14.24	13.29	12.45	11.59	10.85	10.15	9.51	8.86	8.30	7.74
	その他	t/年	3.50	3.72	5.35	5.41	6.01	10.07	9.70	12.59	12.76	10.09	12.37	12.45	12.52	12.52	12.34	12.32	12.19	12.20	12.04	11.91	11.77

表 6-7 各処理処分量の実績及び将来予測（施策実施前）

項目		単位	実績										見通し										
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
	生活系ごみ	t/年	10,097.34	9,918.39	8,949.67	8,573.92	7,956.24	8,063.78	7,868.19	7,607.80	7,563.14	7,478.59	7,299.22	7,184.04	7,072.54	6,983.09	6,858.80	6,766.32	6,676.48	6,607.13	6,504.00	6,421.31	6,336.20
	家庭系ごみ	t/年	7,871.81	7,782.91	6,815.28	6,536.23	5,986.02	6,206.87	6,111.84	5,956.87	6,023.04	6,053.54	5,902.20	5,856.56	5,810.86	5,780.44	5,718.28	5,679.91	5,641.25	5,617.72	5,563.39	5,524.17	5,480.96
	事業系ごみ	t/年	2,825.68	2,887.73	3,030.90	2,807.96	2,607.17	2,590.24	2,524.14	2,564.86	2,361.58	2,443.07	2,347.32	2,300.96	2,252.42	2,214.67	2,166.28	2,121.38	2,081.23	2,048.14	2,000.93	1,964.43	1,929.03
中間処理	養老ドリームパーク	t/年	6,852.58	6,754.21	6,785.20	6,509.75	6,238.36	6,328.04	6,237.92	6,205.67	6,042.99	6,065.54	5,911.97	5,831.26	5,751.69	5,688.42	5,595.33	5,523.81	5,453.10	5,398.42	5,314.67	5,246.84	5,177.49
	収集・燃やせるごみ(家庭系)	t/年	4,039.00	3,924.00	3,841.00	3,785.00	3,676.00	3,752.00	3,740.00	3,703.00	3,697.00	3,686.00	3,623.02	3,596.79	3,570.24	3,553.08	3,516.30	3,494.03	3,471.48	3,458.19	3,425.72	3,402.42	3,376.58
	直接搬入・燃やせるごみ(家庭系)	t/年	115.78	102.59	102.78	118.31	106.05	124.21	117.25	113.47	111.26	114.29	113.18	112.36	111.53	110.99	109.85	109.15	108.44	108.03	107.02	106.29	105.48
	直接搬入・燃やせるごみ(事業系)	t/年	2,697.80	2,727.62	2,841.42	2,606.44	2,456.31	2,451.83	2,380.67	2,389.20	2,234.73	2,265.25	2,175.77	2,122.11	2,069.92	2,024.35	1,969.18	1,920.63	1,873.18	1,832.20	1,781.93	1,738.13	1,695.43
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	767.61	683.75	694.20	698.83	591.30	604.39	593.38	622.23	557.13	656.92	624.92	631.80	635.12	643.79	648.81	652.58	659.92	669.08	670.85	678.09	684.91
	収集・燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	476.15	416.15	376.02	350.55	308.50	316.92	312.97	325.87	304.27	319.77	314.67	314.49	314.39	315.07	313.95	314.14	314.26	315.24	314.43	314.48	314.23
	収集・有害ごみ	t/年	12.74	10.05	11.13	11.07	14.18	12.36	9.99	11.26	10.31	10.92	12.18	12.01	11.83	11.72	11.53	11.39	11.26	11.15	11.00	10.87	10.74
	直接搬入・燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	278.72	257.55	307.05	337.21	268.62	275.11	270.42	285.10	242.55	326.23	298.07	305.30	308.90	317.00	323.33	327.05	334.40	342.69	345.42	352.74	359.94
	総資源化量	t/年	2,441.46	2,314.43	2,362.38	2,402.62	2,293.58	2,169.18	2,044.51	1,921.14	1,793.78	1,680.31	1,670.08	1,600.08	1,533.09	1,474.38	1,411.11	1,356.10	1,304.78	1,259.60	1,209.19	1,165.63	1,123.52
資源化	資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	396.67	383.29	371.47	350.89	352.13	337.55	312.86	315.49	307.30	299.37	292.39	284.13	277.29	270.61	264.70	257.62	251.48	245.23
	収集・資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	356.70	354.18	342.28	327.12	318.07	303.30	282.36	281.55	272.22	263.19	255.04	245.84	237.95	230.24	223.22	215.28	208.20	201.08
	直接搬入・養老ドリームパーク	t/年	-	-	-	39.97	29.11	29.19	23.77	34.06	34.25	30.50	33.94	35.08	36.18	37.35	38.29	39.34	40.37	41.48	42.34	43.28	44.15
	集団回収	t/年	1,832.18	1,792.51	1,782.33	1,641.01	1,586.93	1,485.44	1,405.46	1,298.80	1,202.55	1,112.19	1,081.53	1,020.18	962.31	910.26	856.39	809.12	764.62	724.71	682.99	645.66	610.01
	中間処理後資源化量	t/年	215.93	178.94	227.99	364.94	323.36	312.27	288.16	270.21	253.68	255.26	273.06	272.60	271.41	271.73	270.59	269.69	269.55	270.19	268.58	268.49	268.28
	養老ドリームパーク	t/年	0.00	0.00	35.28	186.18	189.02	177.19	160.94	148.32	132.34	118.88	140.70	138.78	136.89	135.38	133.17	131.47	129.78	128.48	126.49	124.87	123.22
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	215.93	178.94	192.71	178.76	134.34	135.08	127.22	121.89	121.34	136.38	132.36	133.82	134.52	136.35	137.42	138.22	139.77	141.71	142.09	143.62	145.06
	再生利用率	%	18.9	18.1	19.7	21.1	21.7	20.4	19.7	18.9	18.1	16.9	17.3	16.9	16.4	16.0	15.6	15.3	14.9	14.6	14.2	13.9	13.6
	最終処分量	t/年	4,106.84	4,309.59	3,229.75	2,172.22	1,709.30	1,768.44	1,699.80	1,530.84	1,593.44	1,619.45	1,551.57	1,526.63	1,501.69	1,481.16	1,452.77	1,430.28	1,408.23	1,390.11	1,364.44	1,343.12	1,321.05
最終処分	不燃ごみ	t/年	2,500.30	2,656.68	1,804.78	1,559.61	1,202.53	1,300.68	1,252.68	1,094.83	1,190.50	1,185.15	1,129.79	1,109.65	1,089.67	1,072.70	1,050.03	1,031.95	1,014.02	998.87	978.52	961.15	943.15
	陶磁器類	t/年	14.70	11.03	22.28	21.41	22.28	37.73	39.63	29.58	29.70	28.80	35.36	35.62	35.75	35.87	35.67	35.51	35.35	35.18	34.81	34.54	34.15
	がれき類	t/年	2,485.60	2,645.65	1,782.50	1,538.20	1,180.25	1,262.95	1,213.05	1,065.25	1,160.80	1,156.35	1,094.43	1,074.03	1,053.92	1,036.83	1,014.36	996.44	978.67	963.69	943.71	926.61	909.00
	中間処理後最終処分量	t/年	1,606.54	1,652.91	1,424.97	612.61	506.77	467.76	447.12	436.01	402.94	434.30	421.78	416.98	412.02	408.46	402.74	398.33	394.21	391.24	385.92	381.97	377.90
	養老ドリームパーク	t/年	1,466.45	1,573.73	1,376.72	566.35	444.80	424.61	399.23	388.47	384.94	403.36	383.10	377.87	372.71	368.61	362.58	357.94	353.36	349.82	344.39	340.00	335.50
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	140.09	79.18	48.25	46.26	61.97	43.15	47.89	47.54	18.00	30.94	38.68	39.11	39.31	39.85	40.16	40.39	40.85	41.42	41.53	41.97	42.40
	最終処分率	%	31.8	33.7	27.0	19.1	16.2	16.6	16.4	15.0	16.1	16.3	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.0	16.0	16.0

表 6-8 ゴミ発生量の実績及び将来予測（施策実施後）

項目		単位	実績										見通し										
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
処理区域内人口（各年3月31日付）		人	33,508	33,179	33,051	32,728	32,455	32,179	31,738	31,296	30,814	30,327	29,993	29,660	29,326	28,993	28,659	28,366	28,073	27,781	27,488	27,195	26,883
目標値	1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	1,057	1,055	993	953	892	905	897	891	882	894	881	822	818	814	811	807	804	802	799	797	795
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	644	641	565	547	505	527	528	521	536	545	539	467	466	464	467	469	472	474	477	479	482
	再生利用率	%	18.9	18.1	19.7	21.1	21.7	20.4	19.7	18.9	18.1	16.9	17.3	20.5	20.5	20.6	20.2	19.8	19.5	19.1	18.8	18.5	18.2
	最終処分量	t/年	4,106.8	4,309.6	3,229.7	2,172.2	1,709.3	1,768.4	1,699.8	1,530.8	1,593.4	1,619.5	1,551.6	964.2	951.4	941.3	928.8	919.6	910.8	904.4	892.8	884.0	874.7
排出量	ごみ総排出量	t/年	12,923.02	12,806.12	11,980.57	11,381.88	10,563.41	10,654.02	10,392.33	10,172.66	9,924.72	9,921.66	9,646.54	8,898.63	8,753.21	8,638.94	8,481.93	8,357.65	8,240.63	8,149.60	8,013.17	7,906.27	7,798.22
	収集ごみ	t/年	5,512.94	5,280.21	5,164.49	5,100.73	4,936.14	5,025.29	4,981.71	4,986.78	4,938.58	4,916.85	4,849.62	4,804.73	4,772.17	4,752.13	4,704.74	4,676.91	4,648.85	4,633.14	4,592.10	4,563.50	4,531.57
	燃やせるごみ	t/年	4,039.00	3,924.00	3,841.00	3,785.00	3,676.00	3,752.00	3,740.00	3,703.00	3,697.00	3,686.00	3,623.02	3,955.69	3,890.90	3,836.63	3,802.59	3,784.19	3,765.46	3,756.75	3,727.27	3,707.62	3,685.32
	ビニール・プラスチック類	t/年	577.00	576.00	562.00	576.00	561.00	564.00	552.00	599.00	594.00	589.00	582.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不燃ごみ	t/年	490.85	427.18	398.30	371.96	330.78	354.65	352.60	355.45	333.97	348.57	350.03	350.11	350.14	350.94	349.62	349.65	349.61	350.42	349.24	349.02	348.38
	燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	476.15	416.15	376.02	350.55	308.50	316.92	312.97	325.87	304.27	319.77	314.67	314.49	314.39	315.07	313.95	314.14	314.26	315.24	314.43	314.48	314.23
	陶磁器類	t/年	14.70	11.03	22.28	21.41	22.28	37.73	39.63	29.58	29.70	28.80	35.36	35.62	35.75	35.87	35.67	35.51	35.35	35.18	34.81	34.54	34.15
	最終処分場（弥八池）	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父江最終処分場	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	356.70	354.18	342.28	327.12	318.07	303.30	282.36	281.55	486.92	519.30	552.84	541.00	531.68	522.52	514.82	504.59	495.99	487.13
	プラスチック製容器包装	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	214.70	256.11	297.80	295.16	293.73	292.28	291.60	289.31	287.79	286.05
	ペットボトル	t/年	30.10	30.66	45.57	52.11	50.78	46.01	45.34	47.84	46.98	39.96	43.57	43.09	42.60	42.23	41.63	41.21	40.78	40.47	39.93	39.51	39.05
	発泡スチロール・トレイ	t/年	33.25	28.32	18.97	18.91	19.41	19.23	18.72	18.04	17.32	16.46	15.76	15.05	14.45	13.79	13.18	12.63	12.09	11.59	11.04	10.52	10.01
	ビン	t/年	260.00	209.00	217.44	220.18	220.68	215.52	205.90	199.97	191.15	179.96	179.32	173.97	168.69	163.94	158.37	153.54	148.78	144.37	139.36	134.80	130.22
	無色ビン	t/年	-	-	93.38	95.98	96.88	95.48	91.62	88.22	84.92	77.56	79.06	76.70	74.37	72.28	69.82	67.69	65.60	63.65	61.44	59.43	57.41
	茶色ビン	t/年	-	-	99.78	98.32	97.96	92.92	89.26	88.54	83.26	79.03	78.26	75.93	73.62	71.55	69.12	67.01	64.93	63.01	60.82	58.83	56.83
	その他	t/年	-	-	24.28	25.88	25.84	27.12	25.02	23.21	22.97	23.37	22.00	21.34	20.70	20.11	19.43	18.84	18.25	17.71	17.10	16.54	15.98
	缶	t/年	70.00	75.00	70.08	65.50	63.31	61.52	57.16	52.22	47.85	45.98	42.90	40.11	37.45	35.08	32.66	30.57	28.59	26.79	24.95	23.37	21.80
	有害ごみ	t/年	12.74	10.05	11.13	11.07	14.18	12.36	9.99	11.26	10.31	10.92	12.18	12.01	11.83	11.72	11.53	11.39	11.26	11.15	11.00	10.87	10.74
	蛍光灯	t/年	7.08	4.91	6.07	6.03	10.08	8.50	6.68	7.77	7.05	7.75	8.38	8.26	8.14	8.06	7.93	7.84	7.75	7.67	7.57	7.48	7.39
	乾電池	t/年	5.66	5.14	5.06	5.04	4.10	3.86	3.31	3.49	3.26	3.17	3.80	3.75	3.69	3.66	3.60	3.55	3.51	3.48	3.43	3.39	3.35
	直接搬入ごみ	t/年	5,577.90	5,733.41	5,033.75	4,640.13	4,040.34	4,143.29	4,005.16	3,887.08	3,783.59	3,892.62	3,715.39	3,073.72	3,018.73	2,976.55	2,920.80	2,871.62	2,827.16	2,791.75	2,738.08	2,697.11	2,656.64
	燃やせるごみ	t/年	2,813.58	2,830.21	2,944.20	2,724.75	2,562.36	2,576.04	2,497.92	2,502.67	2,345.99	2,379.54	2,288.95	2,245.68	2,191.47	2,144.20	2,087.97	2,038.84	1,990.81	1,949.56	1,898.37	1,853.95	1,810.55
	家庭系	t/年	115.78	102.59	102.78	118.31	106.05	124.21	117.25	113.47	111.26	114.29	113.18	123.57	121.55	119.85	118.79	118.21	117.63	117.36	116.44	115.82	115.12
	事業系	t/年	2,697.80	2,727.62	2,841.42	2,606.44	2,456.31	2,451.83	2,380.67	2,389.20	2,234.73	2,265.25	2,175.77	2,122.11	2,069.92	2,024.35	1,969.18	1,920.63	1,873.18	1,832.20	1,781.93	1,738.13	1,695.43
	不燃ごみ	t/年	2,764.32	2,903.20	2,089.55	1,875.41	1,448.87	1,538.06	1,483.47	1,350.35	1,403.35	1,482.58	1,392.50	792.96	791.08	795.00	794.54	793.44	795.98	800.71	797.37	799.88	801.94
	燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	278.72	257.55	307.05	337.21	268.62	275.11	270.42	285.10	242.55	326.23	298.07	305.30	308.90	317.00	323.33	327.05	334.40	342.69	345.42	352.74	359.94
	家庭系（個人）	t/年	150.84	97.44	117.57	135.69	117.76	136.70	126.95	109.44	115.70	148.41	126.52	126.45	126.40	126.68	126.23	126.30	126.35	126.75	126.42	126.44	126.34
	事業系（業者＋減免）	t/年	127.88	160.11	189.48	201.52	150.86	138.41	143.47	175.66	126.85	177.82	171.55	178.85	182.50	190.32	197.10	200.75	208.05	215.94	219.00	226.30	233.60
	がれき類	t/年	2,485.6	2,645.7	1,782.5	1,538.2	1,180.3	1,263.0	1,213.1	1,065.3	1,160.8	1,156.4	1,094.43	487.66	482.18	478.00	471.21	466.39	461.58	458.02	451.95	447.14	442.00
	最終処分場（弥八池）	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父江最終処分場	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	資源ごみ（養老ドリームパーク）	t/年	-	-	-	39.97	29.11	29.19	23.77	34.06	34.25	30.50	33.94	35.08	36.18	37.35	38.29	39.34	40.37	41.48	42.34	43.28	44.15
	集団回収量	t/年	1,832.18	1,792.51	1,782.33	1,641.01	1,586.93	1,485.44	1,405.46	1,298.80	1,202.55	1,112.19	1,081.53	1,020.18	962.31	910.26	856.39	809.12	764.62	724.71	682.99	645.66	610.01
	新聞	t/年	820.10	863.99	862.58	759.82	750.36	683.60	662.74	592.25	547.26	512.77	498.22	469.30	442.08	417.55	392.17	369.73	348.70	329.64	309.82	292.03	275.04
	雑誌	t/年	589.83	519.11	506.92	464.02	426.77	399.22	363.57	346.14	316.08	292.46	270.41	250.62	232.28	215.83	199.38	185.02	171.63	159.63	147.59	136.88	126.87
	ダンボール	t/年	281.54	269.25	273.32	283.08	277.46	265.96	252.61	233.82	220.88	200.53	209.76	202.77	195.88	189.73	182.85	176.84	171.02	165.84	159.93	154.65	149.44
	布類	t/年	98.57	100.18	102.39	98.96	100.85	99.91	104.74	93.15	86.76	79.78	75.54	70.80	66.26	62.18	58.06	54.36	50.93	47.89	44.75	41.89	39.15
	アルミ缶	t/年	38.64	36.27	31.78	29.72	25.48	26.69	12.11	20.86	18.82	16.56	15.23	14.24	13.29	12.45	11.59	10.85	10.15	9.51	8.86	8.30	7.74
	その他	t/年	3.50	3.72	5.35	5.41	6.01	10.07	9.70	12.59	12.76	10.09	12.37	12.45	12.52	12.52	12.34	12.32	12.19	12.20	12.04	11.91	11.77

表 6-9 ごみ処理処分量の実績及び将来予測（施策実施後）

項目		単位	実績										見通し										
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
	生活系ごみ	t/年	10,097.34	9,918.39	8,949.67	8,573.92	7,956.24	8,063.78	7,868.19	7,607.80	7,563.14	7,478.59	7,299.22	6,597.67	6,500.79	6,424.27	6,315.65	6,236.27	6,159.40	6,101.46	6,012.24	5,941.84	5,869.19
	家庭系ごみ	t/年	7,871.81	7,782.91	6,815.28	6,536.23	5,986.02	6,206.87	6,111.84	5,956.87	6,023.04	6,053.54	5,902.20	5,055.49	4,983.00	4,923.82	4,879.97	4,856.13	4,831.89	4,820.45	4,782.32	4,756.91	4,727.90
	事業系ごみ	t/年	2,825.68	2,887.73	3,030.90	2,807.96	2,607.17	2,590.24	2,524.14	2,564.86	2,361.58	2,443.07	2,347.32	2,300.96	2,252.42	2,214.67	2,166.28	2,121.38	2,081.23	2,048.14	2,000.93	1,964.43	1,929.03
中間処理	養老ドリームパーク	t/年	6,852.58	6,754.21	6,785.20	6,509.75	6,238.36	6,328.04	6,237.92	6,205.67	6,042.99	6,065.54	5,911.97	6,201.37	6,082.37	5,980.83	5,890.56	5,823.03	5,756.27	5,706.31	5,625.64	5,561.57	5,495.87
	収集・燃やせるごみ(家庭系)	t/年	4,039.00	3,924.00	3,841.00	3,785.00	3,676.00	3,752.00	3,740.00	3,703.00	3,697.00	3,686.00	3,623.02	3,955.69	3,890.90	3,836.63	3,802.59	3,784.19	3,765.46	3,756.75	3,727.27	3,707.62	3,685.32
	直接搬入・燃やせるごみ(家庭系)	t/年	115.78	102.59	102.78	118.31	106.05	124.21	117.25	113.47	111.26	114.29	113.18	123.57	121.55	119.85	118.79	118.21	117.63	117.36	116.44	115.82	115.12
	直接搬入・燃やせるごみ(事業系)	t/年	2,697.80	2,727.62	2,841.42	2,606.44	2,456.31	2,451.83	2,380.67	2,389.20	2,234.73	2,265.25	2,175.77	2,122.11	2,069.92	2,024.35	1,969.18	1,920.63	1,873.18	1,832.20	1,781.93	1,738.13	1,695.43
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	767.61	683.75	694.20	698.83	591.30	604.39	593.38	622.23	557.13	656.92	624.92	631.80	635.12	643.79	648.81	652.58	659.92	669.08	670.85	678.09	684.91
	収集・燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	476.15	416.15	376.02	350.55	308.50	316.92	312.97	325.87	304.27	319.77	314.67	314.49	314.39	315.07	313.95	314.14	314.26	315.24	314.43	314.48	314.23
	収集・有害ごみ	t/年	12.74	10.05	11.13	11.07	14.18	12.36	9.99	11.26	10.31	10.92	12.18	12.01	11.83	11.72	11.53	11.39	11.26	11.15	11.00	10.87	10.74
	直接搬入・燃やせないごみ・粗大ごみ	t/年	278.72	257.55	307.05	337.21	268.62	275.11	270.42	285.10	242.55	326.23	298.07	305.30	308.90	317.00	323.33	327.05	334.40	342.69	345.42	352.74	359.94
資源化	総資源化量	t/年	2,441.46	2,314.43	2,362.38	2,402.62	2,293.58	2,169.18	2,044.51	1,921.14	1,793.78	1,680.31	1,670.08	1,823.59	1,797.07	1,779.14	1,713.30	1,656.95	1,604.28	1,558.53	1,505.90	1,460.92	1,417.15
	資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	396.67	383.29	371.47	350.89	352.13	337.55	312.86	315.49	522.00	555.48	590.19	579.29	571.02	562.89	556.30	546.93	539.27	531.28
	収集・資源ごみ	t/年	393.35	342.98	352.06	356.70	354.18	342.28	327.12	318.07	303.30	282.36	281.55	486.92	519.30	552.84	541.00	531.68	522.52	514.82	504.59	495.99	487.13
	直接搬入・養老ドリームパーク	t/年	-	-	-	39.97	29.11	29.19	23.77	34.06	34.25	30.50	33.94	35.08	36.18	37.35	38.29	39.34	40.37	41.48	42.34	43.28	44.15
	集団回収	t/年	1,832.18	1,792.51	1,782.33	1,641.01	1,586.93	1,485.44	1,405.46	1,298.80	1,202.55	1,112.19	1,081.53	1,020.18	962.31	910.26	856.39	809.12	764.62	724.71	682.99	645.66	610.01
	中間処理後資源化量	t/年	215.93	178.94	227.99	364.94	323.36	312.27	288.16	270.21	253.68	255.26	273.06	281.41	279.28	278.69	277.62	276.81	276.77	277.52	275.98	275.99	275.86
	養老ドリームパーク	t/年	0.00	0.00	35.28	186.18	189.02	177.19	160.94	148.32	132.34	118.88	140.70	147.59	144.76	142.34	140.20	138.59	137.00	135.81	133.89	132.37	130.80
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	215.93	178.94	192.71	178.76	134.34	135.08	127.22	121.89	121.34	136.38	132.36	133.82	134.52	136.35	137.42	138.22	139.77	141.71	142.09	143.62	145.06
最終処分	再生利用率	%	18.9	18.1	19.7	21.1	21.7	20.4	19.7	18.9	18.1	16.9	17.3	20.5	20.5	20.6	20.2	19.8	19.5	19.1	18.8	18.5	18.2
	最終処分量	t/年	4,106.84	4,309.59	3,229.75	2,172.22	1,709.30	1,768.44	1,699.80	1,530.84	1,593.44	1,619.45	1,551.57	964.24	951.38	941.28	928.75	919.62	910.79	904.39	892.83	884.04	874.68
	不燃ごみ	t/年	2,500.30	2,656.68	1,804.78	1,559.61	1,202.53	1,300.68	1,252.68	1,094.83	1,190.50	1,185.15	1,129.79	523.28	517.93	513.87	506.88	501.90	496.93	493.20	486.76	481.68	476.15
	陶磁器類	t/年	14.70	11.03	22.28	21.41	22.28	37.73	39.63	29.58	29.70	28.80	35.36	35.62	35.75	35.87	35.67	35.51	35.35	35.18	34.81	34.54	34.15
	がれき類	t/年	2,485.60	2,645.65	1,782.50	1,538.20	1,180.25	1,262.95	1,213.05	1,065.25	1,160.80	1,156.35	1,094.43	487.66	482.18	478.00	471.21	466.39	461.58	458.02	451.95	447.14	442.00
	中間処理後最終処分量	t/年	1,606.54	1,652.91	1,424.97	612.61	506.77	467.76	447.12	436.01	402.94	434.30	421.78	440.96	433.45	427.41	421.87	417.72	413.86	411.19	406.07	402.36	398.53
	養老ドリームパーク	t/年	1,466.45	1,573.73	1,376.72	566.35	444.80	424.61	399.23	388.47	384.94	403.36	383.10	401.85	394.14	387.56	381.71	377.33	373.01	369.77	364.54	360.39	356.13
	西南濃粗大廃棄物処理センター	t/年	140.09	79.18	48.25	46.26	61.97	43.15	47.89	47.54	18.00	30.94	38.68	39.11	39.31	39.85	40.16	40.39	40.85	41.42	41.53	41.97	42.40
	最終処分率	%	31.8	33.7	27.0	19.1	16.2	16.6	16.4	15.0	16.1	16.3	16.1	10.8	10.9	10.9	10.9	11.0	11.1	11.1	11.1	11.2	11.2



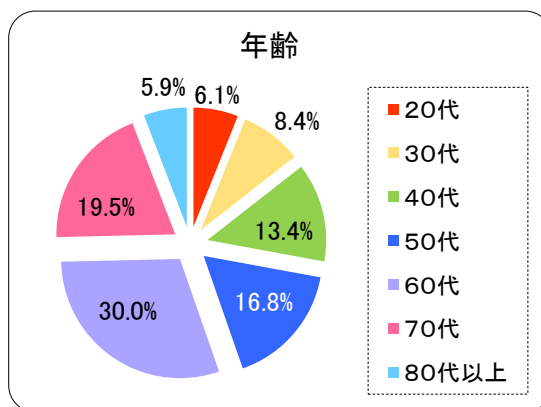
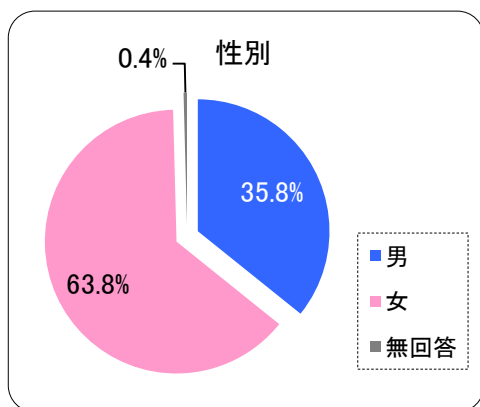
資料3 3Rや家庭のごみに関するアンケート集計結果

1. アンケート集計結果

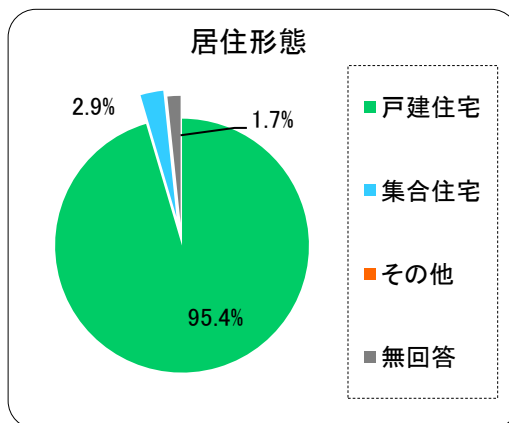
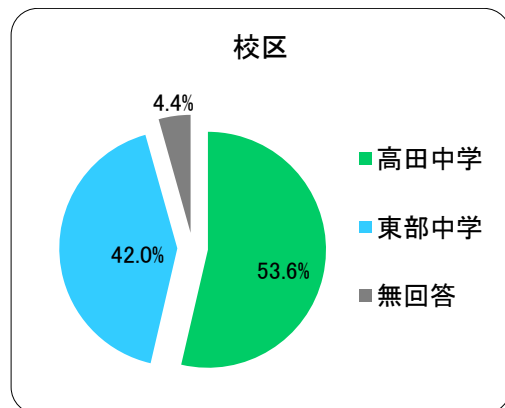
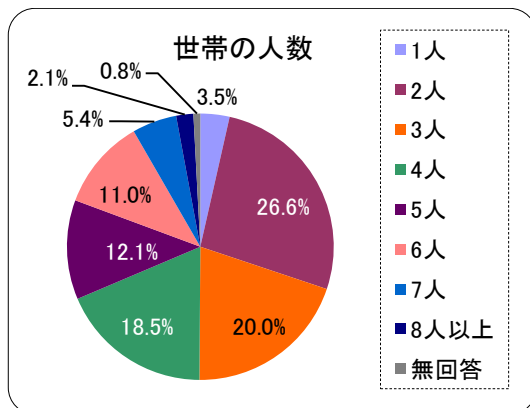
本町の町民を対象に行った3Rや家庭のごみに関するアンケートの集計結果については、以下に示すとおりです。

(1) あなたご自身のことについて

問1 あなたの「性別」と「年齢」を教えてください。

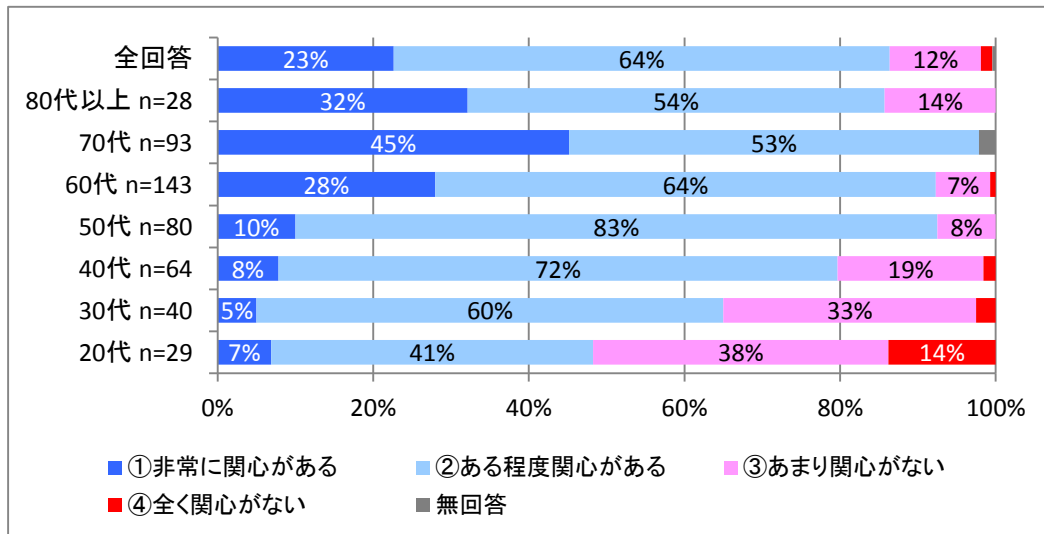


問2 あなたの「世帯の人数」「住所（校区）」と「居住形態」を教えてください。

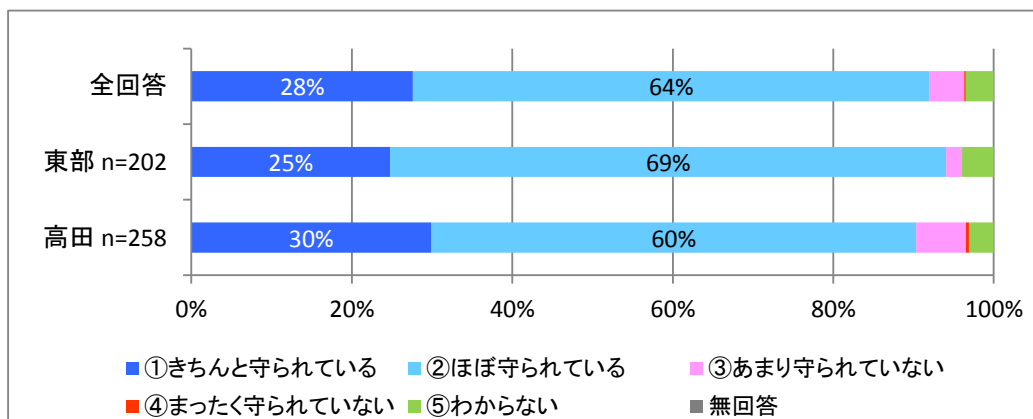


(2) ごみの収集・分別について

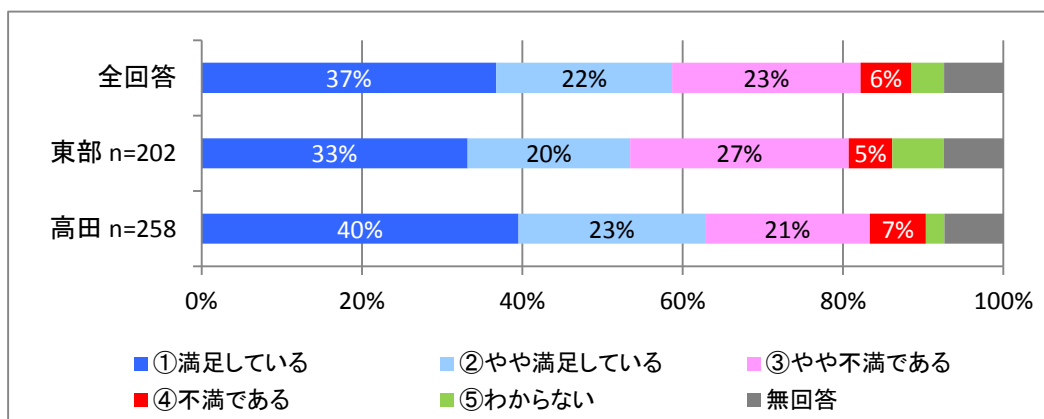
問3 ごみ問題に関心がありますか？



問4 あなたが利用しているごみ集積所では、ごみ出しルールが守られていると思いますか？

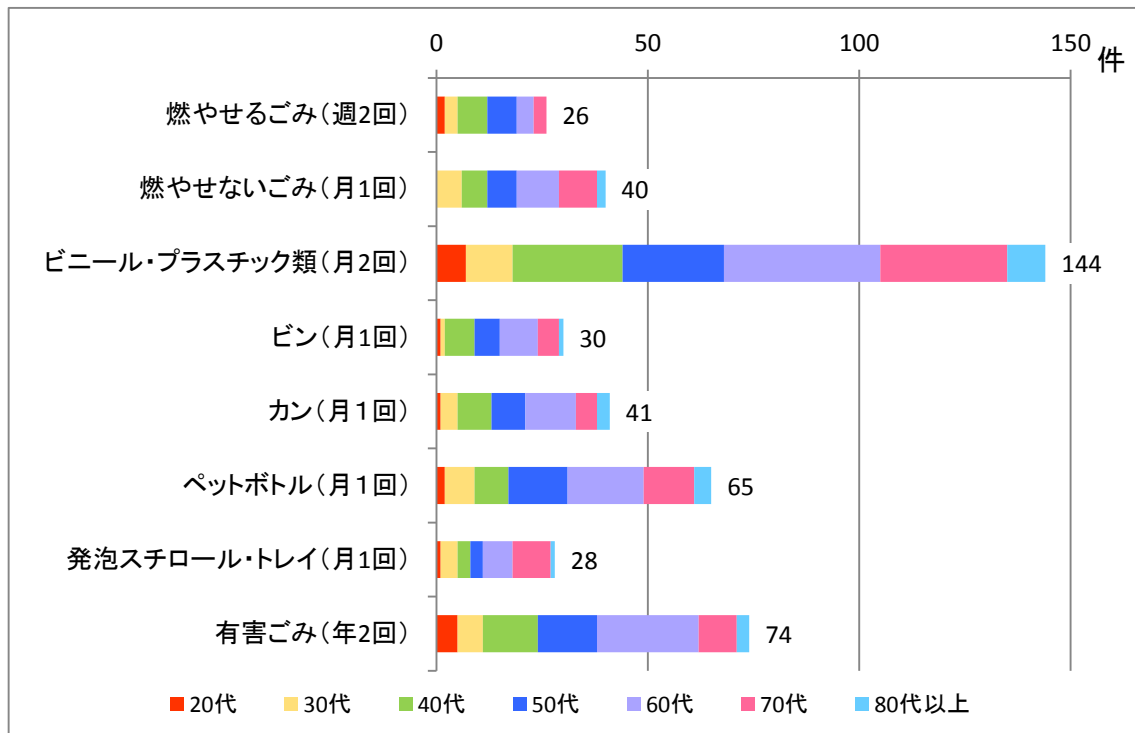


問5 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

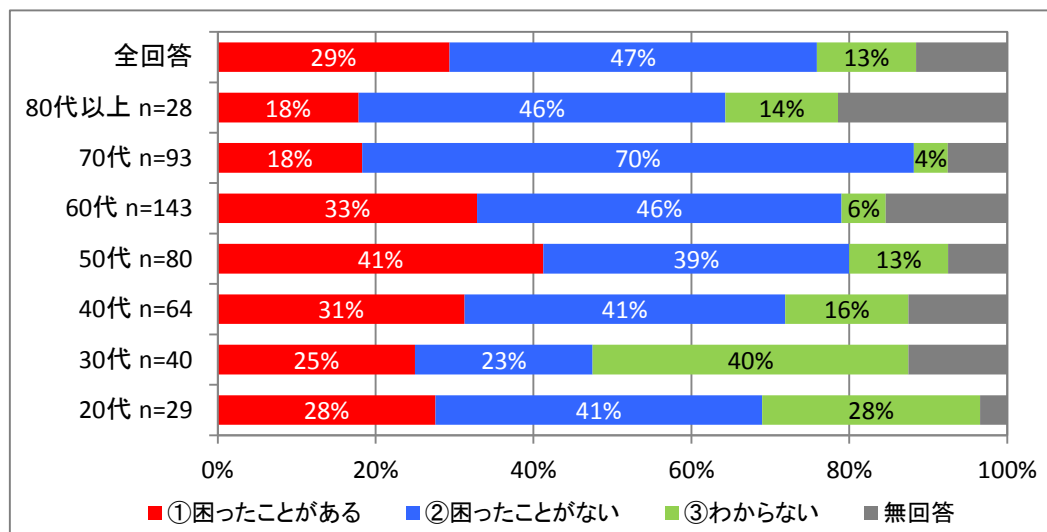


※アンケート結果図中の「n=」は総回答数を示します。

問 6 問 5 で「② やや満足している」「③ やや不満である」「④ 不満である」とご回答いただいた方にお聞きます。どのごみの収集回数に不便を感じたことがありますか？
(複数回答可)

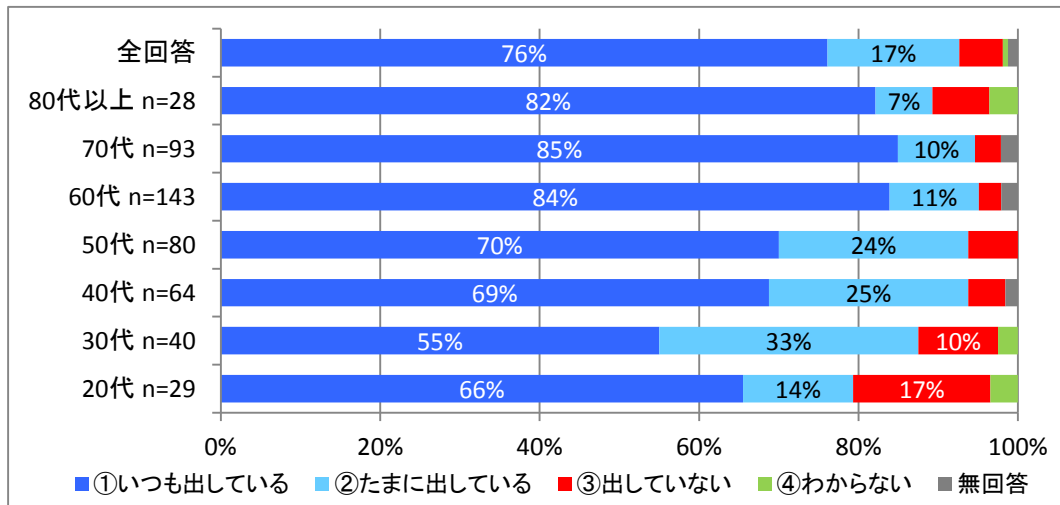


問 7 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

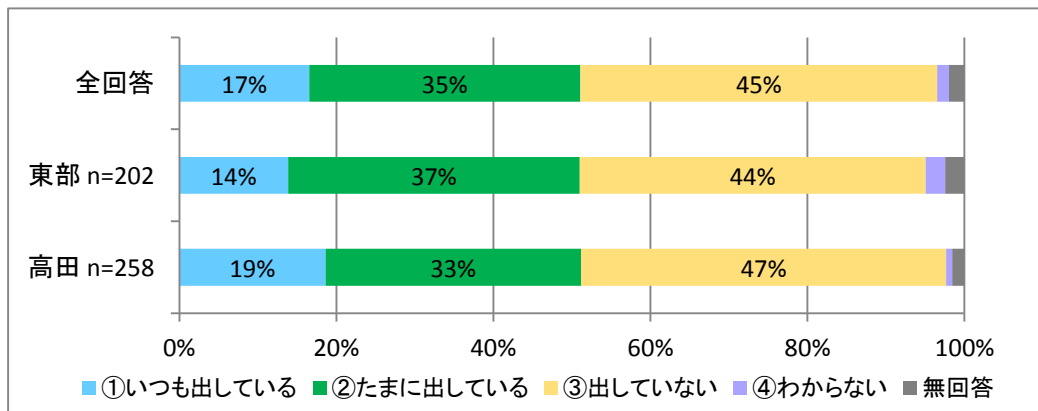


(3) リサイクルについて

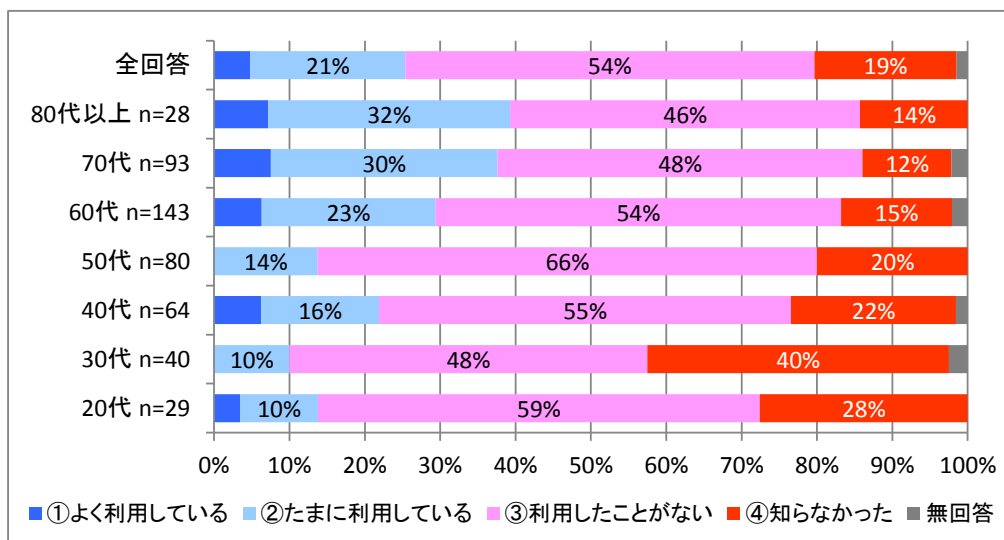
問 8 PTA・子供会・女性団体などの団体が行う資源分別回収に古紙などを出していますか？



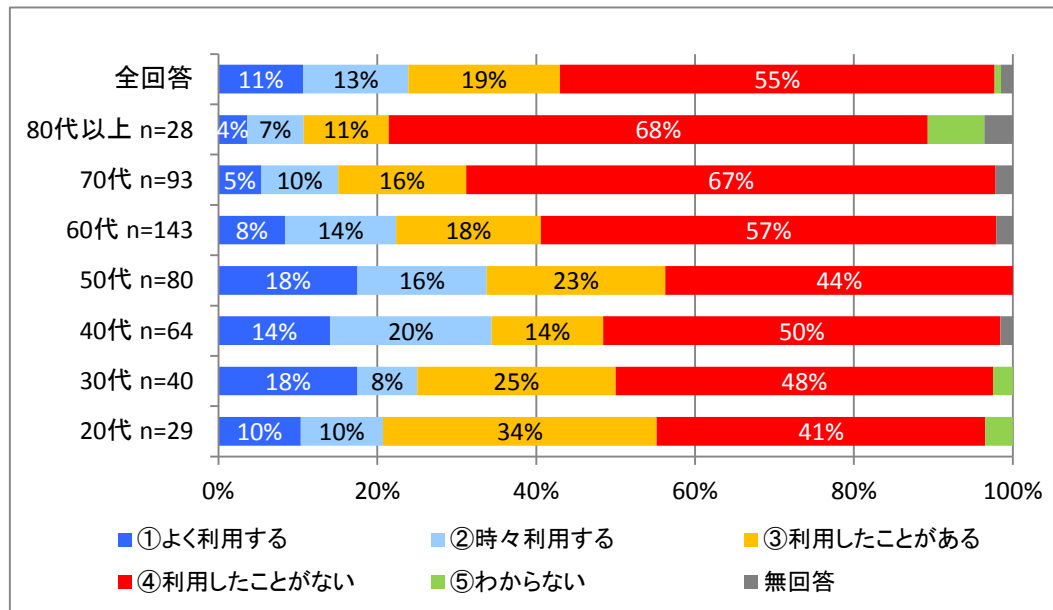
問 9 スーパーの店頭などに設置してある白色トレイや牛乳パックなど資源物の店頭回収を利用していますか？



問 10 養老町役場の玄関にある小型家電回収ボックスを利用したことがありますか？

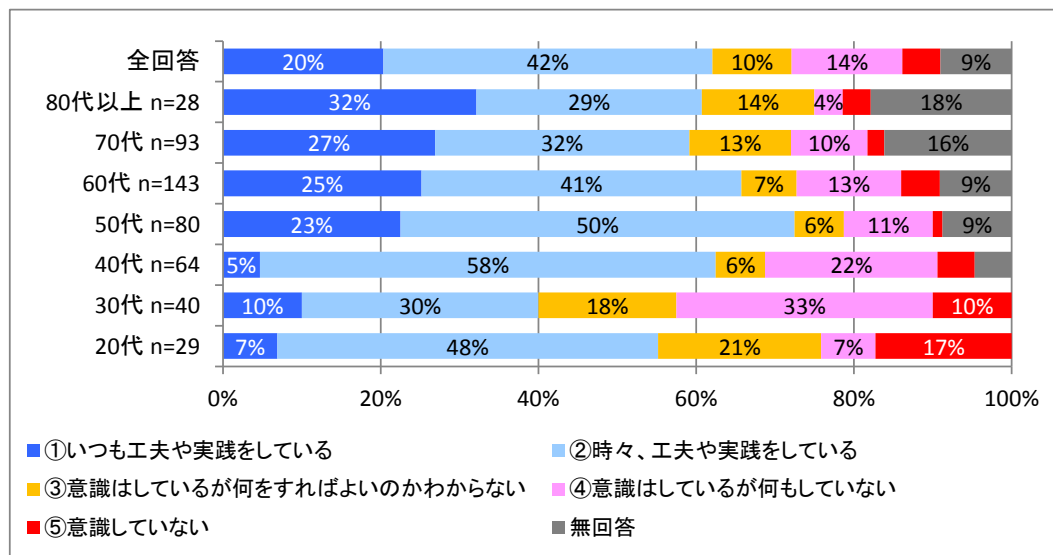


問 11 民間企業が設置している古紙や古着などの回収ボックスを利用したことがありますか？

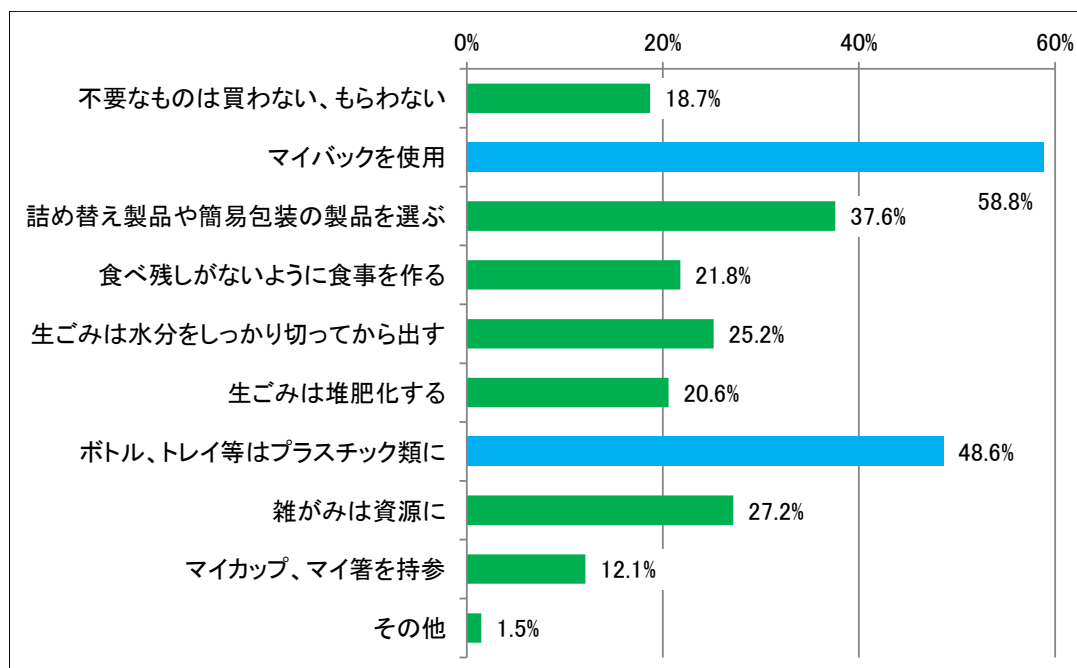


(4) 3Rの取り組みなどについて

問 12 あなたの家庭では「ごみ」を減らす工夫や実践をしていますか？

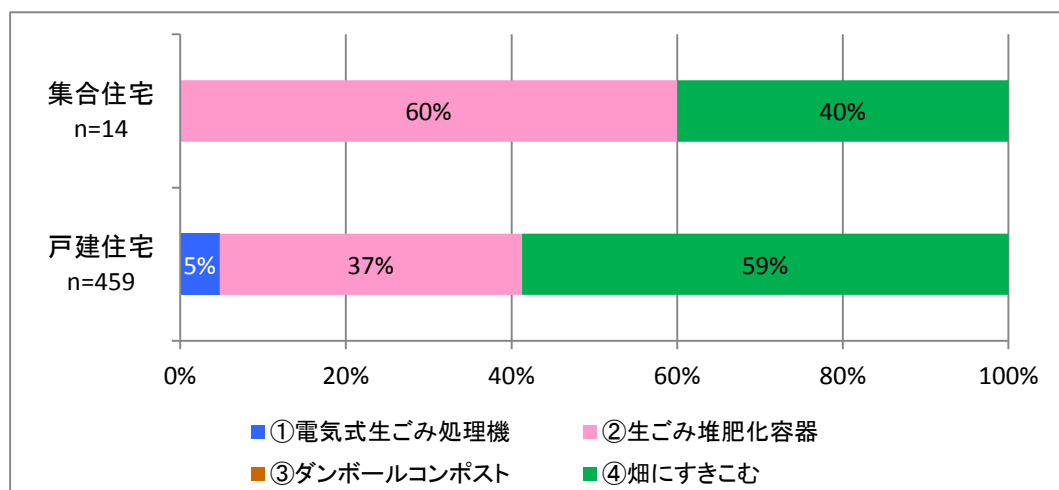


問 13 問 12 で「① いつも工夫や実践をしている」「② 時々、工夫や実践をしている」とご回答いただいた方にお聞きます。具体的に何を工夫・実践していますか？（複数回答可）

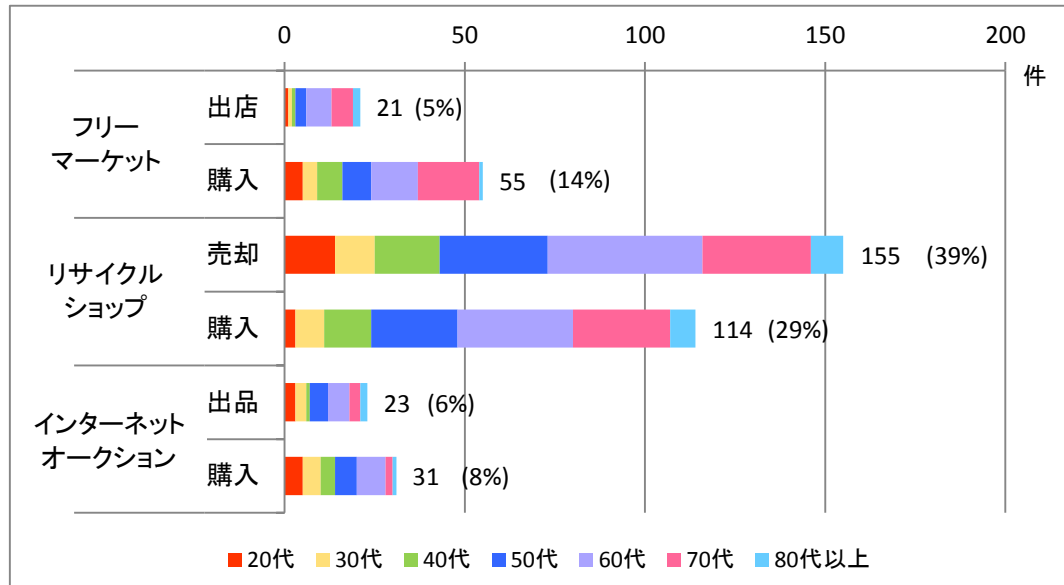


注) 青色は発生抑制（リデュース）の取り組み、緑色は資源化（リサイクル）の取り組みを示します。

問 14 問 13 で「⑥ 堆肥にする」と回答した人にお聞きます。あなたの家ではどのような方法で生ごみを堆肥にしていますか？（複数回答可）



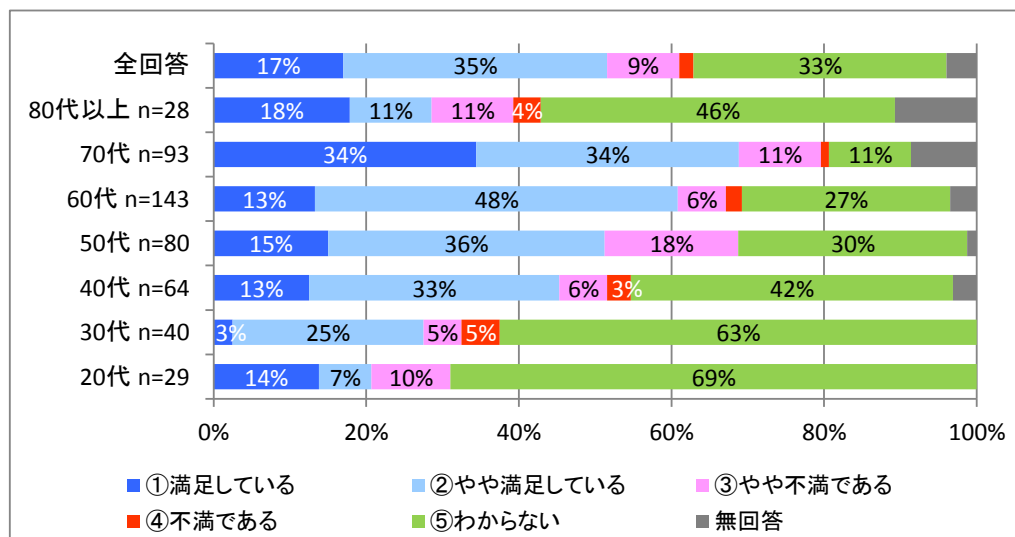
問 15 あなたが行ったことのある再利用（リユース）の取り組みはどれですか？（複数回答可）



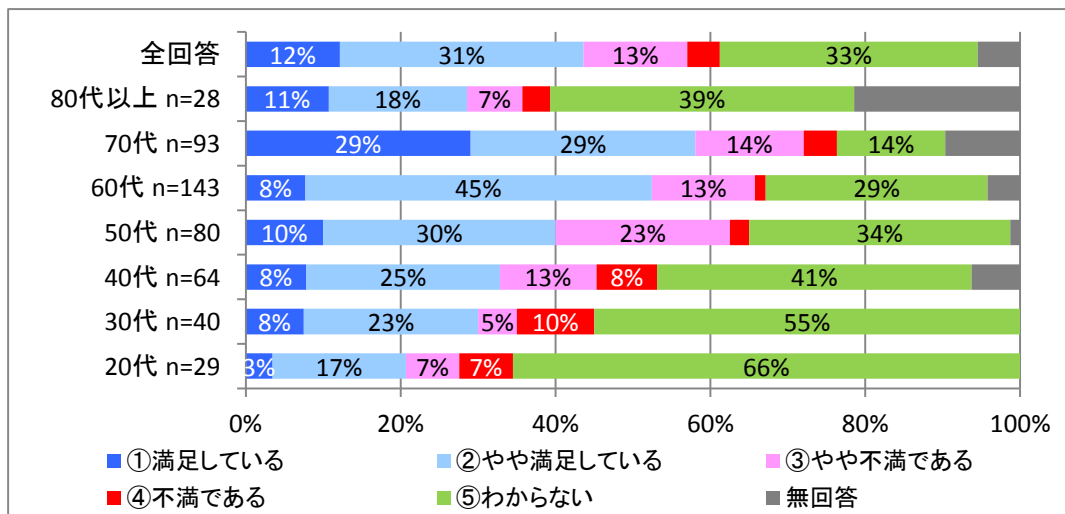
問 15 におけるその他の回答

内容	件数
知人等へ譲渡する	4 件
バザー等に出す	3 件

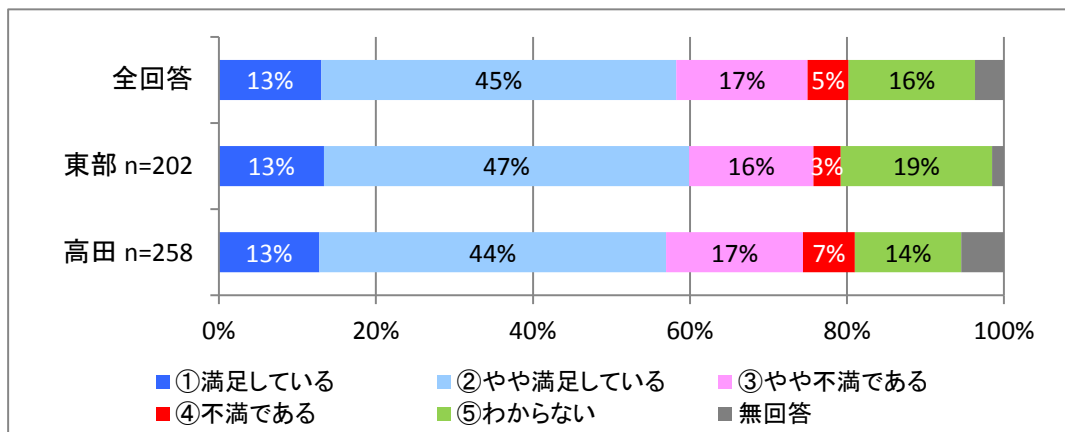
問 16 養老町の 3 R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？



問 17 ごみ処理や3 R（ごみ減量・再使用・リサイクル）の情報公開や提供に満足していますか？

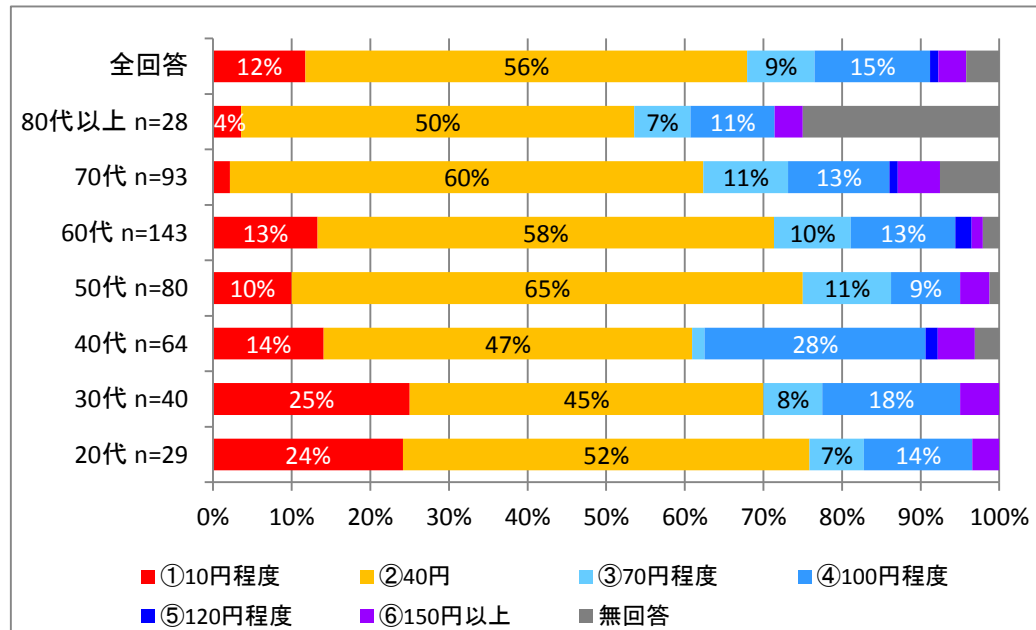


問 18 養老町の街の清潔さに満足していますか？

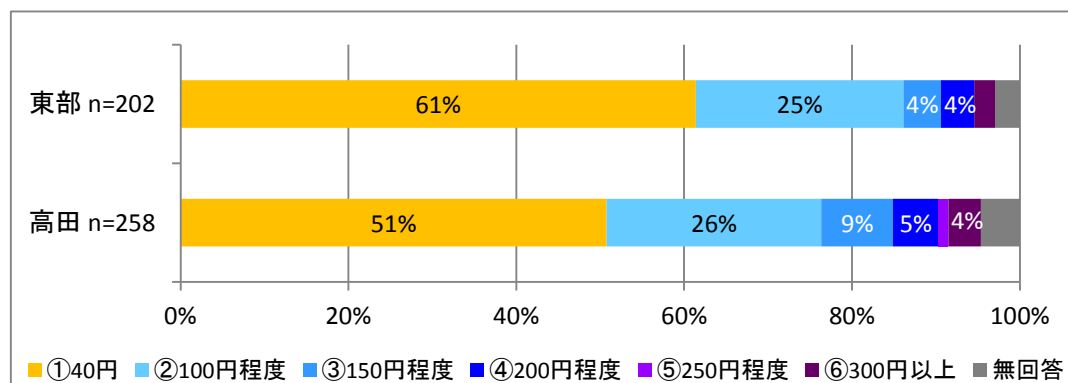


(5) ごみ処理費用について

問 19 燃やせるごみを処理(収集運搬・焼却・埋立)する費用は、燃やせるごみ大1袋(7kg)あたり約 640 円必要です。あなたがごみ処理手数料として払っても良いと思う金額はいくらですか? ※現在の指定袋は1袋 40 円



問 20 燃やせないごみを処理(収集運搬・処理)する費用は、燃やせないごみ大1袋(10kg)あたり約 1,400 円必要です。あなたがごみ処理手数料として払っても良いと思う金額はいくらですか? ※現在の指定袋は1袋 40 円



※ 一般に、燃やせるごみ袋大は平均 7kg、燃やせないごみ袋大は平均 10kg と言われています。



資料4 策定の経緯

1. 策定の経緯

策定の経緯については、表 7-1 に示すとおりです。

表 7-1 策定の経緯

年 月 日	内 容
平成 28 年 6 月 15 日	平成 28 年度 第 1 回ごみ減量化推進協議会
平成 28 年 6 月 23 日～7 月 11 日	3R や家庭のごみに関するアンケート
平成 28 年 11 月 28 日	平成 28 年度 第 2 回ごみ減量化推進協議会
	本計画(案)に対して意見を求めた
平成 29 年 1 月 4 日～1 月 31 日	パブリックコメント

2. パブリックコメント

パブリックコメントの概要については、表 7-2 に示すとおりです。

表 7-2 パブリックコメントの概要

項 目	内 容
実施方法	養老町パブリックコメント手続実施要綱による
意見募集期間	平成 29 年 1 月 4 日～1 月 31 日
意見提出方法	窓口への持参、郵送、ファクシミリ、電子メール
資料の公表場所	町のホームページ、町役場 2 階町政情報閲覧コーナー

第2次一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

平成29年3月

発行：岐阜県 養老町

編集：住民福祉部 生活環境課

岐阜県養老郡養老町高田798番地

0584-32-1100(代表)



この計画書の本文は古紙パルプ配合率 100%・白色度 72%の
エコマーク事務局認定・環境保全型商品を使用しています。

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用